

やまと学園建設工事（建築工事）

図面リスト

番号	図名	番号	図名	番号	図名	番号	図名	番号	図名	番号	図名
A-001	特記仕様書1	A-049	矩計詳細図7	A-097	1階展開図3	A-145	体育器具図4	L-001	外構図	S-001	特記仕様書(1)
A-002	特記仕様書2	A-050	矩計詳細図8	A-098	1階展開図4	A-146	体育機器図5(床収納台車)	L-002	外構詳細図1	S-002	特記仕様書(2)
A-003	特記仕様書3	A-051	矩計詳細図9	A-099	1階展開図5	A-147	電気錠参考システム図	L-003	外構詳細図2	S-003	特記仕様書(3)
A-004	特記仕様書4	A-052	矩計詳細図10	A-100	1階展開図6	A-148	1階家具符号図	L-004	屋外遊具図	S-004	地盤調査(調査位置図・想定地盤断面図)
A-005	特記仕様書5	A-053	矩計詳細図11	A-101	1階展開図7	A-149	2階家具符号図	L-005	解体詳細図	S-005	地盤調査(土質柱状図1)
A-006	特記仕様書6	A-054	矩計詳細図12	A-102	1階展開図8	A-150	家具詳細図1	L-006	既存建屋解体図	S-006	地盤調査(土質柱状図2)
A-007	特記仕様書7	A-055	矩計詳細図13	A-103	1階展開図9	A-151	家具詳細図2			S-007	地盤改良図
A-008	参考工事工程表	A-056	矩計詳細図14	A-104	1階展開図10	A-152	家具詳細図3			S-008	基礎・ピット図
A-009	工事区分表	A-057	矩計詳細図15	A-105	1階展開図11	A-153	家具詳細図4			S-009	1階床梁伏図
A-010	現況配置図	A-058	矩計詳細図16	A-106	2階展開図1	A-154	家具詳細図5			S-010	2階床梁伏図
A-011	敷地求積図	A-059	矩計詳細図17	A-107	2階展開図2	A-155	家具詳細図6			S-011	屋根伏図(1)
A-012	完成配置図	A-060	ELVシャフト詳細図	A-108	2階展開図3	A-156	家具詳細図7	P-001	面積表・仕上げ表	S-012	屋根伏図(2)
A-013	仮設計画図	A-061	屋外階段1詳細図	A-109	2階展開図4	A-157	家具詳細図8	P-002	プール平面詳細図	S-013	軸組図(1)
A-014	1階面積求積図	A-062	屋内階段A詳細図	A-110	2階展開図5	A-158	家具詳細図9	P-003	立面図	S-014	軸組図(2)
A-015	2階面積求積図	A-063	屋内階段B詳細図	A-111	2階展開図6	A-159	家具詳細図10	P-004	屋根伏図	S-015	軸組図(3)
A-016	1階各室面積表	A-064	1階平面詳細図1	A-112	2階展開図7	A-160	家具詳細図11	P-005	断面詳細図1	S-016	地盤改良体・基礎断面表
A-017	2階各室面積表	A-065	1階平面詳細図2	A-113	1階ホワイトボード・掲示板プロット図	A-161	家具詳細図12	P-006	断面詳細図2	S-017	基礎梁断面表
A-018	外部仕上表・凡例	A-066	1階平面詳細図3	A-114	2階ホワイトボード・掲示板プロット図	A-162	家具詳細図13	P-007	断面詳細図3	S-018	柱位置、柱断面表
A-019	内部仕上表1	A-067	1階平面詳細図4	A-115	ホワイトボード・掲示板リスト	A-163	家具詳細図14	P-008	建具表	S-019	大梁断面表(1)
A-020	内部仕上表2	A-068	1階平面詳細図5	A-116	1階サインプロット図	A-164	家具詳細図15	P-009	詳細図1	S-020	大梁断面表(2)
A-021	内部仕上表3	A-069	1階平面詳細図6	A-117	2階サインプロット図	A-165	家具詳細図16	P-010	詳細図2	S-021	小梁・スラブ・壁断面表
A-022	内部仕上表4	A-070	1階平面詳細図7	A-118	1階誘導標識プロット図	A-166	家具詳細図17	P-011	詳細図3	S-022	鉄骨部材断面表、各部要領図
A-023	内部仕上表5	A-071	1階平面詳細図8	A-119	2階誘導標識プロット図	A-167	家具詳細図18	P-012	プール図	S-023	配筋標準図(1)
A-024	内部仕上表6	A-072	1階平面詳細図9	A-120	1階消火器プロット図	A-168	家具詳細図19	P-013	プール部品図	S-024	配筋標準図(2)
A-025	内部仕上表7	A-073	1階平面詳細図10	A-121	2階消火器プロット図	A-169	エレベーター特記仕様書	P-014	プール構造詳細図	S-025	配筋標準図(3)
A-026	1階平面図	A-074	2階平面詳細図1	A-122	部分詳細図1	A-170	エレベーター図	P-015	基礎伏図	S-026	配筋標準図(4)
A-027	2階平面図	A-075	2階平面詳細図2	A-123	部分詳細図2	A-171	1階法規チェック図	P-016	プールサイド床梁伏図	S-027	配筋標準図(5)
A-028	屋根伏図	A-076	2階平面詳細図3	A-124	部分詳細図3	A-172	2階法規チェック図	P-017	1階伏図	S-028	配筋標準図(6)
A-029	ピット伏図	A-077	2階平面詳細図4	A-125	部分詳細図4	A-173	防火区画図	P-018	軸組図1	S-029	配筋標準図(7)
A-030	立面図1	A-078	2階平面詳細図5	A-126	部分詳細図5			P-019	軸組図2	S-030	配筋標準図(8)
A-031	立面図2	A-079	2階平面詳細図6	A-127	部分詳細図6			P-020	軸組図3	S-031	配筋標準図(9)
A-032	断面図-1-2	A-080	2階平面詳細図7	A-128	木製学校間仕切参考図1			P-021	プールサイド架構詳細図	S-032	配筋標準図(10)
A-033	断面図-3-4	A-081	2階平面詳細図8	A-129	木製学校間仕切参考図2			P-022	プール構造詳細図	S-033	配筋標準図(11)
A-034	断面図-5-6	A-082	2階平面詳細図9	A-130	アルミ建具参考詳細図1					S-034	溶接標準図(1)
A-035	1階床伏図	A-083	2階平面詳細図10	A-131	アルミ建具参考詳細図2					S-035	溶接標準図(2)
A-036	2階床伏図	A-084	1階建具符号図	A-132	シャッター参考詳細図1					S-036	溶接標準図(3)
A-037	1階天井伏図	A-085	2階建具符号図	A-133	シャッター参考詳細図2					S-037	溶接標準図(4)
A-038	2階天井伏図	A-086	R階建具符号図	A-134	天井ガラスウールボード参考詳細図					S-038	溶接標準図(5)
A-039	1階壁凡例図	A-087	建具表1	A-135	スライディングウォール・トイレース参考詳細図					S-039	鉄骨部材 各種接合要領図(1)
A-040	2階壁凡例図	A-088	建具表2	A-136	金属屋根 参考標準詳細図					S-040	鉄骨部材 各種接合要領図(2)
A-041	1階断熱区分図	A-089	建具表3	A-137	エキスパンションジョイントカバー図(参考図)					S-041	鉄骨階段 各種接合要領図(1)
A-042	2階断熱区分図	A-090	建具表4	A-138	舞台機構図					S-042	鉄骨階段 各種接合要領図(2)
A-043	矩計詳細図1	A-091	建具表5	A-139	1階アリーナ 床伏図(鋼製床)					S-043	鉄骨詳細図(1)
A-044	矩計詳細図2	A-092	建具表6	A-140	1階アリーナ 断面詳細図(鋼製床)					S-044	鉄骨詳細図(2)
A-045	矩計詳細図3	A-093	建具表7	A-141	1階ラウンジ・ commons 床伏図・断面詳細図(鋼製床)					S-045	鉄骨詳細図(3)
A-046	矩計詳細図4	A-094	建具表8	A-142	体育器具図1					S-046	鉄骨詳細図(4)
A-047	矩計詳細図5	A-095	1階展開図1	A-143	体育器具図2					S-047	鉄骨詳細図(5)
A-048	矩計詳細図6	A-096	1階展開図2	A-144	体育器具図3						

建築工事特記仕様書	
1. 図面及び特記仕様書に記載されてない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「標準仕様書」という）及び「建築工事監理指針 令和7年版」による。	
2. 特記仕様書の適用方法	
（1）項目の番号に○印の付いたものを適用する。	
（2）特記事項に○印の付いたものを適用する。	
（3）項目に記載の表示番号は、標準仕様書の当該項目を示す。 特記事項について、（ ）は標準仕様書の記載内容を示す。	

章	項目	特記事項
共通事項	① 適用基準等	建築工事標準詳細図（令和4年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（以下「標準詳細図」という。） 分類番号（○-○-○）は図示する。
	② 一般事項 (1.1.1)	設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次の（ア）から（オ）までの順番のとおりとし、これにより難い場合は、標準仕様書1.1.8（疑義に対する協議等）による。 （ア）質問回答書（イ）から（オ）までに對するもの （イ）現場説明書 （ウ）特記仕様書 （エ）図面 （オ）標準仕様書
	③ 着工時の提出図書	契約書に定められたもののほか、次のものを監督職員の指示に従い着工時に提出すること。 工事用製本図面(工事用A2版) (5)部 (監督職員部、施設管理者部、事業課部、その他部) (縮小版A3版) (5)部 (監督職員部、施設管理者部、事業課部、その他部) (PPIに掲載されたものを製本すること)
	④ 施工計画書・総合図・施工図 (1.2.2～1.2.3)	施工計画書について、工事着手に先立ち総合施工計画書を作成し、監督職員に提出すること。 工種別施工計画書については、作成が必要な工種をあらかじめ監督職員と協議し、作成し提出すること。 総合図について、建築及び別契約の関連工事と協議、調整を行い、統合した図面を作成し、監督職員に提出して承諾を受ける。なお、作成の主導は本工事で行う。 施工図について、作成が必要な工種をあらかじめ監督職員と協議する。作成した図面は監督職員の承諾を受ける。
	⑤ 工期の変更に係る資料の提出 (1.1.10)	契約書に基づく工期の変更についての発注者との協議に当たり、協議の対象となる事項について、必要とする変更日数の算定根拠、変更工程表その他の協議に必要な資料を、あらかじめ監督職員に提出する。
	6 埋蔵文化財その他の物件 (1.1.12)	重機による掘削調査等について協力すること。
	⑦ 電気保安技術者 (1.3.3)	配置する
	⑧ 施工条件 (1.3.5)	施工日時 ・ 指定なし（「行政機関の休日に関する法律」に定める行政機関の休日は施工しない。） ○ 指定有り（学校関係者との協議による。） 工事用車両の駐車場 ・ 指定有り（図示による） 資機材置場 ・ 指定有り（図示による）
	⑨ 安全衛生管理体制 (1.3.7)	「労働安全衛生法第30条第2項」に基づき、同条第1項に規定する安全措置を講ずべき者として指名する。
	10 発生材の処理等 (1.3.11)	・ 発注者（施設管理者）に引渡しを要する品目（ ） 引渡し場所（ ）、引渡し時期（ ） ・ 特別管理型産業廃棄物及び処理方法 ・ PCB（施設管理者へ引き渡し） ・ 廃石綿（ ） ・ PH12.5以上の廃アルカリ処理方法（ ） ・ 再利用、再生資源化を図るもの ・ 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」における特定建設資材 ・ 発生材の品目及び処理方法（ ）
○ 環境への配慮 (1.4.1)	「山口県グリーン購入の推進方針」及び「グリーン購入ガイド」（以下「グリーン購入」という。）に基づき、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。 使用する材料等は、設計図書で定める性能等を有するとともに、次のことを満たすものとする。 1）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリヤ樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか放散が極めて少ないもの。 2）保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか放散が極めて少ないもの。 3）接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか放散が極めて少ないもの。 4）塗料は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか放散が極めて少ないもの。	

○2	建築材料等 (1.4.1～6)	5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか放散が極めて少ないもの。 1) 使用する材料の選定は、設計図書に指定されたもの、JIS、JAS、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿（最新版）」（以下「評価名簿」という）による。 2) 製材等、フローリング又は再生木質ボード、コンクリートに使用するせき板の材料は、グリーン購入法の基本方針の基準に従い、「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」（林野庁作成）に準拠した証明書等を、監督職員に提出する。 3) 「山口県ふるさと産業振興条例」の趣旨を踏まえ、施工する工事に要する資材の調達に当たり、指定主要資材については、県内産資材（県内工場等で製造した資材）を購入すること。（「入札条件及び指示事項」による）																																																																
○3	技能士 (1.5.2)	技能士の適用は下記による。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>適用種別</th> <th>工事種目</th> <th>適用種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設</td> <td>○ とび</td> <td>屋根及びとい</td> <td>○ 建築板金（内外装板金作業）</td> </tr> <tr> <td>鉄筋</td> <td>○ 鉄筋施工</td> <td></td> <td>・ かわらぶき</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>○ 型枠施工</td> <td>金属</td> <td>○ 内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ コンクリート圧送施工</td> <td></td> <td>・ 建築板金（内外装板金作業）</td> </tr> <tr> <td>鉄骨</td> <td>○ とび</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>防水</td> <td>○ アスファルト防水</td> <td>左官</td> <td>○ 左官</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ カラゴム系塗膜防水</td> <td>建具</td> <td>○ 珪施工</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 合成ゴム系シート防水</td> <td></td> <td>○ ガラス施工</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ 塩化ビニル系シート防水</td> <td>塗装</td> <td>・ 塗装（建築塗装作業）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○ シーリング防水</td> <td>内装</td> <td>○ 内装仕上げ施工の各仕上工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td></td> <td>○ プラスチック系床</td> </tr> <tr> <td>石</td> <td>・ 石材施工</td> <td></td> <td>○ 板仕上げ</td> </tr> <tr> <td>タイル</td> <td>○ タイル張り</td> <td></td> <td>・ 表装</td> </tr> <tr> <td>木</td> <td>・ 建築大工</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>植栽</td> <td>・ 造園</td> </tr> </tbody> </table>	工事種目	適用種別	工事種目	適用種別	仮設	○ とび	屋根及びとい	○ 建築板金（内外装板金作業）	鉄筋	○ 鉄筋施工		・ かわらぶき	コンクリート	○ 型枠施工	金属	○ 内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）		○ コンクリート圧送施工		・ 建築板金（内外装板金作業）	鉄骨	○ とび			防水	○ アスファルト防水	左官	○ 左官		○ カラゴム系塗膜防水	建具	○ 珪施工		・ 合成ゴム系シート防水		○ ガラス施工		○ 塩化ビニル系シート防水	塗装	・ 塗装（建築塗装作業）		○ シーリング防水	内装	○ 内装仕上げ施工の各仕上工事作業		・		○ プラスチック系床	石	・ 石材施工		○ 板仕上げ	タイル	○ タイル張り		・ 表装	木	・ 建築大工		・			植栽	・ 造園
工事種目	適用種別	工事種目	適用種別																																																															
仮設	○ とび	屋根及びとい	○ 建築板金（内外装板金作業）																																																															
鉄筋	○ 鉄筋施工		・ かわらぶき																																																															
コンクリート	○ 型枠施工	金属	○ 内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）																																																															
	○ コンクリート圧送施工		・ 建築板金（内外装板金作業）																																																															
鉄骨	○ とび																																																																	
防水	○ アスファルト防水	左官	○ 左官																																																															
	○ カラゴム系塗膜防水	建具	○ 珪施工																																																															
	・ 合成ゴム系シート防水		○ ガラス施工																																																															
	○ 塩化ビニル系シート防水	塗装	・ 塗装（建築塗装作業）																																																															
	○ シーリング防水	内装	○ 内装仕上げ施工の各仕上工事作業																																																															
	・		○ プラスチック系床																																																															
石	・ 石材施工		○ 板仕上げ																																																															
タイル	○ タイル張り		・ 表装																																																															
木	・ 建築大工		・																																																															
		植栽	・ 造園																																																															
1.4	施工の検査等 (1.5.5)	見本施工を行うもの（ ）																																																																
○5	化学物質の濃度測定 (1.5.10)	測定対象室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定する。（提出部数 1部） 測定対象室及び測定箇所数 ・ 校舎棟 (31箇所) ・ プール棟 (1箇所) ・ (箇所) ・ (箇所) 測定方法及び測定対象化学物質 ○ 予備濃度測定 測定方法（ ・ 検知管法 ・ ） 測定対象化学物質 ホルムアルデヒド・トルエン ○ 濃度測定（引渡し前） 測定方法（ ） 測定に要する資機材は受注者が準備する。 学校施設の場合 ○ 厚生労働省の標準測定法 ・ 学校施設以外の場合 ・ パンツ型採取機器 ・ 測定対象化学物質 ・ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン 用途が学校の場合は、パラジクロロベンゼンを加えた6物質を測定																																																																
○6	技術検査 (1.6.2)	技術検査に必要な資機材等は以下による。 パケツ、懐中電灯、木槌、鏡、脚立、ドライバー、チョーク、下げ張り、レベル、スコップ、スチールテープ（50m程度）、散水ホース、ガラス厚を測定する器具、その他監督職員が指示する資機材																																																																
○7	工事写真	下記のものを監督職員に提出する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格等</th> <th>撮影時期</th> <th>撮影箇所</th> <th>部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 電子データ（CD-R）</td> <td>着工前、施工中、完成</td> <td>適宜</td> <td>1部</td> </tr> </tbody> </table> 電子データの提出方法については「電子納品に関する手引き【営繕系工事編】」又は「オンライン電子納品実施要領」による。 工事写真は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック」、「営繕工事写真撮影要領（最新版）」及び「デジタル工事写真の黒板情報電子化基準」による。 下記のことを監督職員に提出する <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類・規格等</th> <th>撮影箇所</th> <th>部数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 電子データ（CD-R）</td> <td>箇所</td> <td>1部</td> </tr> </tbody> </table> 写真の撮影箇所を記入すること。（電子データの写真のファイル名も同様） 電子データの提出方法については「電子納品に関する手引き【営繕系工事編】」による。 作成方法は「山口県営繕工事完成図作成要領」及び「電子納品に関する手引き【営繕系工事編】」又は「オンライン電子納品実施要領」による。 次に記載されていない事項は、監督職員の指示による。	分類・規格等	撮影時期	撮影箇所	部数	・ 電子データ（CD-R）	着工前、施工中、完成	適宜	1部	分類・規格等	撮影箇所	部数	○ 電子データ（CD-R）	箇所	1部																																																		
分類・規格等	撮影時期	撮影箇所	部数																																																															
・ 電子データ（CD-R）	着工前、施工中、完成	適宜	1部																																																															
分類・規格等	撮影箇所	部数																																																																
○ 電子データ（CD-R）	箇所	1部																																																																
○8	完成写真																																																																	
○9	完成時の提出図書等 (1.7.1～3) (23.3.4)																																																																	

	完成図は、以下による。	表1.7.1																																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>記入内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 配置図及び案内図</td> <td>敷地及び建築物等の面積表、屋外排水系統図、外構、植栽</td> </tr> <tr> <td>・ 各階平面図</td> <td>室名、室面積、耐震壁</td> </tr> <tr> <td>・ 各立面図</td> <td>外壁仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・ 断面図</td> <td>階高、天井高等を表示し、2面上作成</td> </tr> <tr> <td>・ 仕上表</td> <td>屋外、屋内の仕上げ、色番号、材料名、メーカー名等</td> </tr> <tr> <td>・ 施工図</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 施工計画書</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	記入内容	・ 配置図及び案内図	敷地及び建築物等の面積表、屋外排水系統図、外構、植栽	・ 各階平面図	室名、室面積、耐震壁	・ 各立面図	外壁仕上げ	・ 断面図	階高、天井高等を表示し、2面上作成	・ 仕上表	屋外、屋内の仕上げ、色番号、材料名、メーカー名等	・ 施工図		・ 施工計画書																														
種類	記入内容																																													
・ 配置図及び案内図	敷地及び建築物等の面積表、屋外排水系統図、外構、植栽																																													
・ 各階平面図	室名、室面積、耐震壁																																													
・ 各立面図	外壁仕上げ																																													
・ 断面図	階高、天井高等を表示し、2面上作成																																													
・ 仕上表	屋外、屋内の仕上げ、色番号、材料名、メーカー名等																																													
・ 施工図																																														
・ 施工計画書																																														
	完成図の作成、提出 黒表紙付きA4版（年度、工事名、工期、施工業者名を金文字で記入）に下記図面を製本したもの。 ・ 完成図（確認済証、検査済証、施工体系図、保証書（以下参照）、VOC測定結果（合格）の写し共） 作成部数：学校施設の場合1部、学校施設以外の場合2部 製本図面A2版（年度、工事名、工期、施工業者名を記入）に下記図面を製本したもの。 ○ 完成図 作成部数（3）部 完成図のPDFデータ																																													
	保全に関する資料（取扱説明書、性能試験成績書、その他監督職員が指示するもの） 提出部数 ・ 1部 ○ 2部 ・ （ ）部 ・ 不要 保証書 ○ 防水 保証期間（ ・ 工事引渡日の翌日から10年 ・ 年） ・ 住宅建設瑕疵担保責任保険契約を証する書類 保証期間（ ・ 工事引渡日から10年 ・ 年） ○ 新植樹木の枯保証 保証期間（引渡日から1年）																																													
	提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図及び総合図を提出して、監督職員の承諾を受ける。																																													
	設備工事との取り合い	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>建築</th> <th>電気</th> <th>機械</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋コンクリート壁、床及び梁等における設備（埋込盤、プルボックス、ダクト、配管等）の仮枠、箱入れ及び貫通スリーブ</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">埋込型設備機器取付箇所の床、壁、天井ボード類の切込み及び下地補強</td> <td>切込み及び補強</td> <td>○</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>電気墨出し</td> <td>・</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電気室、自家発電機室などの基礎及びビット（ふた含）</td> <td>基礎及びビット</td> <td>○</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>電気墨出し</td> <td>・</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>天井点検口</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>軽量鉄骨壁のボックス取付用下地</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">機器類の吊りボルト用インサート</td> <td>電気設備</td> <td>・</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機械設備</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">機器類の取付け用アンカーボルト</td> <td>電気設備</td> <td>・</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>機械設備</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>		建築	電気	機械	鉄筋コンクリート壁、床及び梁等における設備（埋込盤、プルボックス、ダクト、配管等）の仮枠、箱入れ及び貫通スリーブ	○	・	・	埋込型設備機器取付箇所の床、壁、天井ボード類の切込み及び下地補強	切込み及び補強	○	・	電気墨出し	・	○	電気室、自家発電機室などの基礎及びビット（ふた含）	基礎及びビット	○	・	電気墨出し	・	○	天井点検口	○	・	・	軽量鉄骨壁のボックス取付用下地	・	○	・	機器類の吊りボルト用インサート	電気設備	・	○	機械設備	・	・	機器類の取付け用アンカーボルト	電気設備	・	○	機械設備	・	・
	建築	電気	機械																																											
鉄筋コンクリート壁、床及び梁等における設備（埋込盤、プルボックス、ダクト、配管等）の仮枠、箱入れ及び貫通スリーブ	○	・	・																																											
埋込型設備機器取付箇所の床、壁、天井ボード類の切込み及び下地補強	切込み及び補強	○	・																																											
	電気墨出し	・	○																																											
電気室、自家発電機室などの基礎及びビット（ふた含）	基礎及びビット	○	・																																											
	電気墨出し	・	○																																											
天井点検口	○	・	・																																											
軽量鉄骨壁のボックス取付用下地	・	○	・																																											
機器類の吊りボルト用インサート	電気設備	・	○																																											
	機械設備	・	・																																											
機器類の取付け用アンカーボルト	電気設備	・	○																																											
	機械設備	・	・																																											
	コンクリート基礎（外灯設備）	・	・	○	・																																									
	コンクリート基礎（機械設備機器類）	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>屋上設置</th> <th>屋内設置</th> <th>屋外設置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>		屋上設置	屋内設置	屋外設置		○	・	・		・	・	・		・	・	・																												
	屋上設置	屋内設置	屋外設置																																											
	○	・	・																																											
	・	・	・																																											
	・	・	・																																											
	オイルサービスタンク防油堤	○	・	・																																										
	自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアフェック、フアヒンジ	○	・	・																																										
	OAフロア・フリーアクセスフロアパネルの切込み及び補強	○	・	・																																										
	OAフロア・フリーアクセスフロア仕上材の切込み及び補強	・	○	・																																										
	外壁取付けガラリ	○	・	・																																										
	換気扇枠、換気扇枠用アルミパネル開口（ストッパー取付を含む）	○	・	・																																										
	建築工事を含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の配管・配線	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1次側</th> <th>2次側（盤含む）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>		1次側	2次側（盤含む）		・	○		○	・																																			
	1次側	2次側（盤含む）																																												
	・	○																																												
	○	・																																												
	機械設備工事を含む設備機器付属の制御盤及び操作盤の配管・配線	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1次側</th> <th>2次側（盤含む）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>		1次側	2次側（盤含む）		・	○		○	・																																			
	1次側	2次側（盤含む）																																												
	・	○																																												
	○	・																																												
	機械設備制御盤から別途盤への渡り配管・配線の接続	・	○	・																																										
	エアコン、全熱交換ユニット、集中管理等のリモコン配管	・	○	・																																										
	エアコン、全熱交換ユニット、集中管理等のリモコン配線	・	・	○																																										
	エアコン、全熱交換ユニット、集中管理等のリモコン本体及び本体取付	・	・	○																																										
	エアコンの屋内機、屋外機間の渡り配線（アース（緑色）共）	・	・	○																																										
	換気機器用スイッチの配管・配線及びスイッチ取付（全熱交換ユニットを含む）	・	○	・																																										
	換気機器用スイッチ本体（全熱交換ユニット用、24時間換気用を除く）	・	○	・																																										
	機械設備工事を含む遮断装置の操作器及び感知器の配管・配線	・	○	・																																										
	機械設備工事を含む電極の配管・配線	・	○	・																																										
	擬音装置の埋込ボックス	・	・	○																																										
	電気開閉式大便器用洗浄弁の一次側電源の配管・配線	・	○	・																																										
	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配管	・	○	・																																										
	電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ側の配線	・	・	○																																										
	ガス給湯器のアース配線	・	・	○																																										
	屋内、屋外雨水管	○	・	・																																										

○10 著作権
○11 設備工事との取り合い

設計者	樹葉設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
	樹葉設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
樹長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔	

工事名	やまと学園建設工事（建築工事）	No.	A- 001
図名	特記仕様書1		
設計	光市建設部建築住宅課	縮尺(A1)	-
	級建築士登録第 号	縮尺(A3)	-
部長	課長	係長	製図
			写図
			令和 8年 5月

<p>① 型枠 (6.8.1) (6.8.2) (6.8.4)</p> <p>② コンクリートの強度試験 (6.9.3)</p> <p>12 軽量コンクリート (6.10.1)</p> <p>13 マスコンクリート (6.13.1~2)</p> <p>④ 無筋コンクリート (6.14.1)</p> <p>⑤ コンクリート単位水量測定</p>	<p>③ 外部に面するコンクリート打増し厚さ () mm</p> <p>型枠のせき板</p> <p>材料 (合法木材)</p> <ul style="list-style-type: none"> 合板 合板 (表面加工品) <p>区分 (・A ・B ・C)</p> <p>厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> 12mm () mm <p>材料 (その他)</p> <p>④ 床型枠用鋼製デッキプレート (評価名簿による)</p> <p>スリーブに用いる材料 (材質、規格) 図示による</p> <p>材齢28日の構造体コンクリートの圧縮強度推定用試験については、第3者機関にて行うこと。</p> <p>ただし、監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。</p> <p>図示による</p> <p>図示による</p>	<p>10 スタッド (7.2.8)</p> <p>11 柱底均しモルタル (7.2.9) (7.10.3)</p> <p>12 材料試験等 (7.2.10)</p> <p>13 仮組 (7.3.10)</p> <p>14 摩擦面の性能及び処理 (7.4.2)</p> <p>15 溶接の準備 (7.6.4)</p> <p>16 溶接施工 (7.6.7)</p> <p>17 溶接部の試験 (7.6.12)</p> <p>18 デッキプレートの溶接 (7.7.8)</p> <p>19 錆止め塗料 (7.8.2~4)</p> <p>20 耐火被覆の種類等 (7.9.2) (7.9.3)</p> <p>21 アンカーボルト等の設置等 (7.10.3)</p> <p>22 軽量形鋼 (7.11.2)</p> <p>23 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合 (7.12.5)</p>	<table border="1"> <tr> <th>呼び名</th> <th>呼び長さ (mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ D 1 6</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ D 1 9</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ D 2 2</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> モルタル 無収縮モルタル (製造所: 評価名簿による) <p>工法の種別</p> <ul style="list-style-type: none"> A種 B種 <p>厚さ ()</p> <ul style="list-style-type: none"> 内部品質確認が必要とされる鋼材の使用 (・ SM材 ・ SS材 ・) 板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験はJIS G 0901による <p>仮組の実施 部位 ()</p> <p>すべり試験の実施</p> <p>試験方法</p> <ul style="list-style-type: none"> すべり係数試験 すべり耐力試験 <p>開先の形状 構造図による</p> <p>鋼製エンドタブの切断</p> <ul style="list-style-type: none"> 切断箇所 (・ 構造図による ・) 切断範囲 (・ 構造図による ・) 切断面の仕上げ (・ 標準仕様書7.6.7(1) (a) (b)②による ・) <p>完全溶込み溶接</p> <p>低応力高サイクル疲労を受ける部位 ()</p> <p>スカラップの形状 構造図による</p> <p>溶接部の外観試験の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 「突合せ接手の食い違い仕口ずれの検査・補強マニュアル」3.5.2受入検査による JASS6 10.4[受入検査]e. 溶接部の外観検査(1)から(5)による <p>完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 (・ 実施する ・ 実施しない)</p> <p>工場溶接の場合の試験における品質の保証 (A O Q L (平均出検品質限界) の値 (・ 4.0% ・ 2.5%)</p> <p>工場溶接の場合の試験における検査水準 (抜取率の大小) (・ 第6水準 ・) 表7.6.2</p> <p>デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法 (・ 図示(構造図) ・ 焼抜き栓溶接)</p> <p>デッキプレートの敷込みと同時にを行う仮留めの方法 (・ アークスポット溶接 ・ 隅肉溶接)</p> <p>溶接技能技術者 (・ 配置する ・ 配置しない)</p> <p>溶錆止め塗装範囲 図示</p> <p>塗料の範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 (・ 構造図による ・) 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 (・ 標準仕様書7.8.2(1) (7)~(9)以外の範囲 ・) <p>塗料の種別 (特記なき鉄鋼面は、標準仕様書「18章塗装工事」による)</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別 (・ A s種 ・) 表18.3.1 耐火被覆材が接着する面の塗料の種別 図示による <p>種類・材料・工法等</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐火材吹付け (・ 乾式吹付けロウカール工法 ・ 半乾式吹付けロウカール工法) 耐火板張り (・ けい酸がめく板 ・ 強化石こうボード ・ 押出成形セメント板) 耐火材巻付け (・ ロウカール ・) ラス張りモルタル塗り 耐火塗料 <p>耐火性能 ()</p> <ul style="list-style-type: none"> 構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法並びに保持及び埋込み 構造図による 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 表7.10.1 <p>ボルトの接合部 (・ 普通ボルト接合 ・ 構造図による)</p> <p>摩擦面の処理方法</p> <ul style="list-style-type: none"> プラスト処理又はりん酸塩処理 プラスト処理、りん酸塩処理以外の方法の場合 すべり耐力の確認方法 () 	呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所	・ D 1 6			・ D 1 9			・ D 2 2			<p>4 押出成形セメント板 (8.5.2~5)</p> <p>⑨ 防水工事</p>	<p>外壁パネル構成</p> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> A種 B種 <p>表8.4.2</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を証明する書類を監督職員に提出する。 <p>パネル幅の最小限度</p> <ul style="list-style-type: none"> 300mm () mm (300mm未満の場合) <p>パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びに他部材との取合い部の伸縮目地の幅</p> <ul style="list-style-type: none"> 10~20mm <p>伸縮目地への耐火目地材の充填</p> <ul style="list-style-type: none"> 適用する 適用しない <p>耐火目地材</p> <ul style="list-style-type: none"> アルカリアースシリケートウール <p>間仕切壁パネル構成</p> <p>構成</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準詳細図2-31-1による 図示による <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> C種 D種 E種 <p>表8.4.3</p> <p>パネル幅の最小限度</p> <ul style="list-style-type: none"> 300mm () mm (300mm未満の場合) <p>パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びに他部材との取合い部の伸縮目地の幅</p> <ul style="list-style-type: none"> 10~20mm <p>伸縮目地への耐火目地材の充填</p> <ul style="list-style-type: none"> 適用する 適用しない <p>耐火目地材</p> <ul style="list-style-type: none"> アルカリアースシリケートウール <p>屋根及び床パネル構成</p> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> F種 <p>表8.4.4</p> <p>パネル幅の最小限度</p> <ul style="list-style-type: none"> 300mm () mm (300mm未満の場合) <p>表8.5.1~2</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>使用箇所</th> <th>表面形状</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 外壁</td> <td rowspan="2"></td> <td>・ フラットパネル</td> <td>・ 50 ・ 60</td> </tr> <tr> <td>・ デザインパネル</td> <td>・ 50 ・ 60</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 間仕切壁</td> <td rowspan="2"></td> <td>・ フラットパネル</td> <td>・ 50 ・ 60</td> </tr> <tr> <td>・ デザインパネル</td> <td>・ 50 ・ 60</td> </tr> </table> <p>製造所: 評価名簿による</p> <p>外壁パネル工法</p> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> A種 B種 <p>表8.5.1</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を証明する書類を監督職員に提出する。 <p>標準仕様書8.5.3(3)以外の目地及び隙間の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> 製造所の仕様による <p>パネル幅の最小限度</p> <ul style="list-style-type: none"> 300mm () mm (300mm未満の場合) <p>パネル相互の目地幅</p> <p>(パネル幅900mm以下の場合)</p> <p>長辺</p> <ul style="list-style-type: none"> mm (10mm以上) <p>短辺</p> <ul style="list-style-type: none"> mm (15mm以上) <p>(パネル幅900mm超の場合)</p> <p>長辺</p> <ul style="list-style-type: none"> mm (10mm以上) <p>短辺</p> <ul style="list-style-type: none"> mm (15mm以上) <p>出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅</p> <ul style="list-style-type: none"> 15mm (シーリング材を充填) <p>間仕切壁パネル工法</p> <p>種別</p> <ul style="list-style-type: none"> B種 C種 <p>表8.5.2</p> <p>標準仕様書8.5.3(3)以外の目地及び隙間の処理</p> <ul style="list-style-type: none"> 製造所の仕様による <p>パネル幅の最小限度</p> <ul style="list-style-type: none"> 300mm () mm (300mm未満の場合) <p>パネル相互の目地幅</p> <p>長辺</p> <ul style="list-style-type: none"> mm (10mm以上) <p>短辺</p> <ul style="list-style-type: none"> mm (15mm以上) <p>出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅</p> <ul style="list-style-type: none"> 15mm (シーリング材を充填) <p>溝掘り及び開口部の処置</p> <p>パネル欠き込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 行う 行わない <p>パネルの開口の限度 ()</p>	種類	使用箇所	表面形状	厚さ (mm)	・ 外壁		・ フラットパネル	・ 50 ・ 60	・ デザインパネル	・ 50 ・ 60	・ 間仕切壁		・ フラットパネル	・ 50 ・ 60	・ デザインパネル	・ 50 ・ 60																																																																																						
				呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所																																																																																																																	
				・ D 1 6																																																																																																																			
				・ D 1 9																																																																																																																			
				・ D 2 2																																																																																																																			
				種類	使用箇所	表面形状	厚さ (mm)																																																																																																																
				・ 外壁		・ フラットパネル	・ 50 ・ 60																																																																																																																
						・ デザインパネル	・ 50 ・ 60																																																																																																																
				・ 間仕切壁		・ フラットパネル	・ 50 ・ 60																																																																																																																
						・ デザインパネル	・ 50 ・ 60																																																																																																																
<p>⑦ 鉄骨工事</p> <p>1 鉄骨製作工場 (7.1.3~4)</p> <p>2 施工管理技術者 (1.3.2) (7.1.4)</p> <p>3 鋼材 (7.2.1)</p> <p>4 高力ボルト (7.2.2) (7.3.2)</p> <p>5 普通ボルト (7.2.3) (7.3.2) (7.3.8)</p> <p>6 アンカーボルト (7.2.4) (7.3.2)</p> <p>7 溶接材料 (7.2.5)</p> <p>8 ターンバックル (7.2.6)</p> <p>9 床構造用のデッキプレート (7.2.7)</p>	<p>加工能力等</p> <p>「建築基準法第77条の56第1項」の規定に基づく指定性能評価機関 (株)日本鉄骨評価センター又は (株)全国鉄骨評価機構 による評価を受けて国土交通大臣が指定した工場の加工能力等とする。</p> <p>工場の加工能力等のグレード (・ S ・ H ・ M ・ R ・ J)</p> <p>配置する</p> <p>主な鋼材の品質、種類の記号等は次による。材質、形状及び寸法は図示による。 表7.2.1</p> <table border="1"> <tr> <th>規格番号</th> <th>種類の記号</th> <th>規格名称</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>JIS G 3101</td> <td>S S</td> <td>一般構造用圧延鋼材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>JIS G 3136</td> <td>S N</td> <td>建築構造用圧延鋼材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>JIS G 3138</td> <td>S N R</td> <td>建築構造用圧延棒鋼</td> <td></td> </tr> <tr> <td>JIS G 3444</td> <td>S T K</td> <td>一般構造用炭素鋼鋼管</td> <td></td> </tr> <tr> <td>JIS G 3466</td> <td>S T K R</td> <td>一般構造用角形鋼管</td> <td></td> </tr> <tr> <td>JIS G 3352</td> <td>S D P</td> <td>デッキプレート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td></td> <td>建築基準法に基づき指定又は認定を受けた構造用鋼材及び鋳鋼</td> <td></td> </tr> </table> <p>トルシア形高力ボルト セットの種類 (・ 2種 (S10T) ・)</p> <p>(「建築基準法」に基づき認定を受けたもの)</p> <p>JIS形高力ボルト セットの種類 (・ 2種 (F10T) ・)</p> <p>溶融亜鉛めっき高力ボルト セットの種類 (・ 1種 (F8T) 相当 ・)</p> <p>(「建築基準法」に基づき認定を受けたもの)</p> <p>ねじの呼び 構造図による</p> <p>縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 構造図による</p> <p>ボルト及びナットの材料等 表7.2.3による</p> <p>ねじの呼び 構造図による</p> <p>縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 構造図による</p> <p>母屋又は胴縁の取付に使用するボルトの孔径</p> <ul style="list-style-type: none"> ねじの呼び径+1.0mm 構造図による <p>構造用アンカーボルト (JIS B 1220)</p> <ul style="list-style-type: none"> ABR400 ABR490 <p>建方用アンカーボルト (JIS G 3101)</p> <ul style="list-style-type: none"> SS400 <p>公差域クラス及び仕上げの程度</p> <ul style="list-style-type: none"> 表7.2.3による <p>縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 構造図による</p> <ul style="list-style-type: none"> 表7.2.4による <p>種類、ねじの呼び等 構造図による</p> <p>材質、形状及び寸法 構造図による</p>	規格番号	種類の記号	規格名称	適用箇所	JIS G 3101	S S	一般構造用圧延鋼材		JIS G 3136	S N	建築構造用圧延鋼材		JIS G 3138	S N R	建築構造用圧延棒鋼		JIS G 3444	S T K	一般構造用炭素鋼鋼管		JIS G 3466	S T K R	一般構造用角形鋼管		JIS G 3352	S D P	デッキプレート		—		建築基準法に基づき指定又は認定を受けた構造用鋼材及び鋳鋼		<p>8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事</p> <p>1 補強コンクリート ブロック造 (8.2.2~5) (8.2.7~8)</p> <p>2 コンクリートブロック 横壁及び塀 (8.3.2) (8.3.4)</p> <p>3 ALCパネル (8.4.2~5)</p> <p>図示による</p> <p>図示による</p> <p>材料</p> <p>パネル材料はJIS A 5416の厚形パネルとする</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">使用箇所</th> <th rowspan="2">厚さ (mm)</th> <th rowspan="2">幅 (mm)</th> <th rowspan="2">長さ (mm)</th> <th colspan="2">単位荷重 (N/m²)</th> <th rowspan="2">耐火性能 (時間)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>正荷重</th> <th>負荷重</th> </tr> <tr> <td>・ 外壁</td> <td></td> <td>150</td> <td></td> <td></td> <td>1,800</td> <td>1,200</td> <td>1</td> <td>意匠パネル (300mm²リット)</td> </tr> <tr> <td>・ 間仕切</td> <td></td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">—</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 屋根</td> <td></td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td>2,000</td> <td>1,000</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 床</td> <td></td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">3,600</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 床</td> <td></td> <td>150</td> <td></td> <td></td> <td colspan="2">3,600</td> <td>1</td> <td></td> </tr> </table>	種類	使用箇所	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	単位荷重 (N/m ²)		耐火性能 (時間)	備考	正荷重	負荷重	・ 外壁		150			1,800	1,200	1	意匠パネル (300mm ² リット)	・ 間仕切		100			—		1		・ 屋根		100			2,000	1,000	0.5		・ 床		100			3,600		1		・ 床		150			3,600		1		<p>防水層の施工</p> <p>① アスファルト防水 (9.2.2~5)</p> <p>②</p> <p>防水層の種別</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>防水層の種別</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 密着工法</td> <td>・ A-1 ・ A-2 ・ A-3</td> <td></td> <td>立上り部への</td> </tr> <tr> <td>・ 密着断熱工法</td> <td>・ AI-1 ・ AI-2 ・ AI-3</td> <td></td> <td>断熱材及び絶</td> </tr> <tr> <td>③ 絶縁工法</td> <td>④ B-1 ・ B-2</td> <td></td> <td>縁用シートの</td> </tr> <tr> <td>・ 絶縁断熱工法</td> <td>・ BI-1 ・ BI-2</td> <td></td> <td>設置 ()</td> </tr> <tr> <td>⑤ 絶縁工法</td> <td>⑥ D-1 ・ D-2</td> <td></td> <td>仕上塗料</td> </tr> <tr> <td>・ 絶縁断熱工法</td> <td>・ DI-1 ・ DI-2</td> <td></td> <td>種類 ()</td> </tr> </table>	工法	防水層の種別	施工箇所	備考	・ 密着工法	・ A-1 ・ A-2 ・ A-3		立上り部への	・ 密着断熱工法	・ AI-1 ・ AI-2 ・ AI-3		断熱材及び絶	③ 絶縁工法	④ B-1 ・ B-2		縁用シートの	・ 絶縁断熱工法	・ BI-1 ・ BI-2		設置 ()	⑤ 絶縁工法	⑥ D-1 ・ D-2		仕上塗料	・ 絶縁断熱工法	・ DI-1 ・ DI-2		種類 ()
		規格番号	種類の記号	規格名称	適用箇所																																																																																																																		
		JIS G 3101	S S	一般構造用圧延鋼材																																																																																																																			
		JIS G 3136	S N	建築構造用圧延鋼材																																																																																																																			
		JIS G 3138	S N R	建築構造用圧延棒鋼																																																																																																																			
		JIS G 3444	S T K	一般構造用炭素鋼鋼管																																																																																																																			
		JIS G 3466	S T K R	一般構造用角形鋼管																																																																																																																			
		JIS G 3352	S D P	デッキプレート																																																																																																																			
		—		建築基準法に基づき指定又は認定を受けた構造用鋼材及び鋳鋼																																																																																																																			
		種類	使用箇所	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)	単位荷重 (N/m ²)		耐火性能 (時間)	備考																																																																																																													
正荷重	負荷重																																																																																																																						
・ 外壁		150			1,800	1,200	1	意匠パネル (300mm ² リット)																																																																																																															
・ 間仕切		100			—		1																																																																																																																
・ 屋根		100			2,000	1,000	0.5																																																																																																																
・ 床		100			3,600		1																																																																																																																
・ 床		150			3,600		1																																																																																																																
工法	防水層の種別	施工箇所	備考																																																																																																																				
・ 密着工法	・ A-1 ・ A-2 ・ A-3		立上り部への																																																																																																																				
・ 密着断熱工法	・ AI-1 ・ AI-2 ・ AI-3		断熱材及び絶																																																																																																																				
③ 絶縁工法	④ B-1 ・ B-2		縁用シートの																																																																																																																				
・ 絶縁断熱工法	・ BI-1 ・ BI-2		設置 ()																																																																																																																				
⑤ 絶縁工法	⑥ D-1 ・ D-2		仕上塗料																																																																																																																				
・ 絶縁断熱工法	・ DI-1 ・ DI-2		種類 ()																																																																																																																				

工事名 やまと学園建設工事 (建築工事)					No.
図名 特記仕様書3					A- 003
設計 光市建設部建築住宅課					縮尺 (A1) -
級建築士登録第 号					縮尺 (A3) -
部長	課長	係長	製図	写図	令和 8年 5月

設計者	小澤 透
樹葉設計コンサルタント 一級建築士登録321729号	福田 豊和
樹葉設計コンサルタント 一級建築士登録293856号	樹長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

3	改質アスファルトシート防水 (9.3.2~3)	防水層の種類	表9.2.3~9								
		工法	防水層の種類		施工箇所	備考					
		屋内防水	・ 密着工法	・ E-1	・ E-2		保護層 ・ あり ・ なし				
			脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による								
		保護層等の施工 平場の保護コンクリート 厚さ () 立上り部の保護、屋上排水溝の設置は、図示による 屋根露出防水断熱工法の断熱材 厚さ ・ 25mm ・ 50mm 種類 ・									
		防水層の種類	表9.3.1~3								
		工法	防水層の種類		施工箇所	備考					
		屋根露出防水	・ 密着工法	・ AS-T1	・ AS-T2		仕上塗料 種類 ()				
			・ 絶縁工法	・ AS-T3	・ AS-T4	・ AS-J1					
		・ 絶縁断熱工法	・ ASI-T1	・ ASI-J1							
脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による											
屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿層 ・ 設ける (主材料製造所の仕様による) ・ 設けない 可塑性移行防止用シート ・ 発泡ポリエチレンシート ・ 固定金具の材質及び寸法形状 ・ 防錆処理した鋼板 (厚さ0.4mm以上) ・ ステンレス鋼板 (厚さ0.4mm以上) ・ 断熱材 材質 ・ 標準仕様書9.4.2(3)(エ)による ・ 厚さ ()											
防水層の種類	表9.4.1~3										
工法	防水層の種類		施工箇所	備考							
① 合成高分子系ルーフィングシート防水	・ S-F1	② S-F2		仕上塗料 種類 () ・ 軽歩行仕様 ③ 非歩行仕様 防湿用フィルム ・ あり ・ なし							
・ 合成高分子系ルーフィングシート防水	・ S-M1	・ S-M2									
・ 合成高分子系ルーフィングシート防水 (断熱工法)	・ S-I-F1	・ S-I-F2									
	・ S-I-M1	・ S-I-M2									
・ 合成高分子系ルーフィングシート防水 (屋内保護密着工法)	・ S-C1			保護モルタル 塗厚 ()							
施工 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシート張付け ・ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を証明する書類を監督職員に提出する											
防水層の種類	表9.5.1~2										
工法	防水層の種類		施工箇所	備考							
① ウレタンゴム系塗膜防水	・ X-1			仕上塗料 種類 ()							
	② X-2										
・ ゴムアスファルト系塗膜防水	・ Y-1										
	・ Y-2										
脱気装置 脱気装置の種類は主材料製造所の仕様による 脱気装置の数量・位置は図示による											
防水層種類 Y-2 の場合の保護層 種類及び施工箇所、目地寸法 ・ 図示以外は表9.7.11による ・ 仕上げ ① あり ・ なし											
接着性試験 ・ 簡易接着性試験 (標準仕様書9.7.5(2)(ア)による) ・ 引張接着性試験 (JIS A 1439) ③ 実績に基づく試験成績書											
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3) 見本焼き、試験施工 (11.1.4)	目地の位置 ① 表11.1.11による ・ 図示による									
		タイルの試験張り ・ 行わない ・ 行う (適用箇所:)									
		タイルの見本焼き ・ 行わない ・ 行う (適用箇所:)									
		③ セメントモルタルによるタイル張り (11.2.2~3) (11.2.6)									
		材料 タイル (製造所: 評価名簿による) タイルの形状、寸法等 (JIS A 5209)									
		施工箇所	形状	寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考
				(mm)	I 類 II 類 III 類	ぬゆう ぬゆう	あり なし	標準 特注	あり なし	あり なし	
					・	・	・	・	・	・	・
					・	・	・	・	・	・	・
					・	・	・	・	・	・	・
構成 床の場合 ・ 標準詳細図 1-01- による ④ 図示による 壁の場合 ・ 標準詳細図 2-01- による ④ 図示による											
役物 役物使用箇所											
内装											
外装											
張付け用材料等 張付け用既調合モルタル及び化粧目地用既調合モルタル (製造所: 評価名簿による)											
施工 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の地下処理 ・ 目荒し工法 (高圧水洗処理) ・ MCR 工法 ・ 壁タイル張りの工法 ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ マスク張り ④ モザイクタイル張り ・											
材料 タイル (製造所: 評価名簿による) タイルの形状、寸法等 (JIS A 5209)											
施工箇所	形状	寸法	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	備考		
		(mm)	I 類 II 類 III 類	ぬゆう ぬゆう	あり なし	標準 特注	あり なし	あり なし			
			・	・	・	・	・	・	・		
			・	・	・	・	・	・	・		
			・	・	・	・	・	・	・		
構成 床の場合 ・ 標準詳細図 1-01- による ・ 図示による 壁の場合 ・ 標準詳細図 2-01- による ・ 図示による											
役物 役物使用箇所											
内装											
外装											
施工 下地調整材塗りを行うコンクリート素地面の地下処理 ・ 目荒し工法 (高圧水洗処理) ・ MCR 工法 壁タイル張りの工法 ・ 内装壁タイル接着剤張り ・ 外装壁タイル接着剤張り											
見え係り面の表 ・ ブレーナー加工仕上げ ④ 超自動機械かな掛け仕上げ ・ サンダー掛け仕上げ 施工箇所 図示による											
製材 JAS 1083 (製材)											
種類	等級	寸法	含水率		保存処理						
・ 下地用			・ A 種	・ B 種	・ ()	・ 有 () ・ 無					
・ 造作用			・ A 種	・ B 種	・ ()	・ 有 () ・ 無					
・ 広葉樹			・ 10%	・ ()		・ 有 () ・ 無					
造作用集材 JAS 1152 (集材)											
種類	品名・樹種名・見つけ材面・寸法			見つけ材面の品質							
・ 造作用	図示			・ 1等 ・ ()							
・ 化粧ばり造作用	図示			・ 1等 ・ ()							
合板等											
下地用合板 JAS 0233 (合板)											
種類	品名	厚さ	接着の程度	等級	板面の品質	樹種名	保存処理				
・ 普通合板							図示				
・ 構造用合板											
普通合板 防虫処理 ・ 有 ()											
構造用合板 防虫処理 ・ 有 ()											
強度等級 ・ 有 ()											
・ 構造用パネル JAS 0360 (構造用パネル)											
品名 ()											
厚さ ()											
釘等											
造作材の化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し											
④ 有機系接着剤によるタイル張り (11.3.2~5)					屋根及びひとい工事						
① 表面仕上げ (12.1.4)					① 長尺金属板葺 (13.2.2~3)						
② 木材 (12.2.1)					② 折板葺 (13.3.2~3)						
③ 接合具 (12.2.2)					③ 諸金物 形状、寸法及び材質 ・ 図示による ・ 表12.2.3から表12.2.5までに示す程度の市販品 (コンクリート埋込み部を除き、表14.2.2 [溶融亜鉛めっきの種類] の F 程度の亜鉛めっきを指す。)						
④ 防蟻・防蟻処理 (12.3.1)					④ 適用部材 ④ 図示による 処理の種類 () 工場における薬剤の加圧注入処理等 適用部材 ・ 図示による 保存処理性能区分 () 薬剤の塗布等 処理の適用 ・ 有 (薬剤の種類:) ・ 無 適用部材 ・ 図示による 処理の方法 ・ 製造所の仕様による。 接着剤への混入による防蟻・防蟻処理 処理の適用 ・ 有 (薬剤の種類:) ・ 無 適用部位 ・ 図示による 合板等の加圧注入処理等による防蟻・防蟻処理 処理の適用 ・ 有 (性能区数: ④ K3) ・ 無 防虫処理の適用 ④ 有 (性能区分: ・ K1) ・ 無						
⑤ 防虫処理 (12.3.2)					⑤ 不燃材料 ・ 有 (適用部位: 図示による) ・ 無 準不燃材料 ・ 有 (適用部位: 図示による) ・ 無 難燃材料 ・ 有 (適用部位: 図示による) ・ 無 木材 間仕切軸組に用いる材料 ・ 床組に用いる材料 ・						
⑥ 6 (12.3.3)					⑥ 軸組及び床材 (12.4.1)						
⑦ RC造等の内部間仕切 (12.5.1)					⑦ 窓、出入口その他 (12.5.1)						
⑧ 9 (12.6.1)					⑧ 窓、出入口その他に用いる木材 ④ 製材 吊元桝、水掛りの下桝及び敷居 ・ ④ 製材 その他 ・						
⑨ ⑩ (12.7.1)					⑨ 床板張り (12.6.1)						
⑩ 壁及び天井下地 (12.7.1)					⑩ 木材 縁甲板及び上がりがまち ・ 製材 ・ 壁及び天井下地に用いる木材 ・ 製材 ・						
表13.2.1					表13.2.1						
施工箇所					種類						
④ 塗装55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3322)					表示記号 ・ CGLCCR-20-AZ150 ・						
厚さ (mm)					備考						
一般部					谷部						
下葦材料 (JIS A 6005) ④ アスファルトルーフィング940 ・ 改質アスファルトルーフィング下葦材 (・ 一般タイプ ・ 粘着層付タイプ) 表13.2.2											
工法 屋根葺形式 ・ 心木なし瓦葺葺 ・ 立平葺 ・ 横葺 ・ あり掛葺 ④ タテハゼ葺 屋根葺工法 葦材の寸法、厚さ、下地等は図示による ・ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を証明する書類を監督職員に提出する ければ (横葺) ・ つかみ込み納め ・ けらば包み納め 雪止め ・ 設置する (図示) ・ 設置しない											
折板の種類 (JIS A 6514)											
施工箇所	形式	山高 (mm)	山ピッチ (mm)	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)					
	・ 重ね形 ・ はげ締め形				・ 鋼板製	・ 0.6 ・ 0.8 ・ 1.0 ・ 1.2 ・					
材料 表13.2.1											
施工箇所	種類		表示記号		厚さ (mm)						
					一般部 谷部						
軒先面戸板 ・ 適用する (厚さ mm) ・ 適用しない											

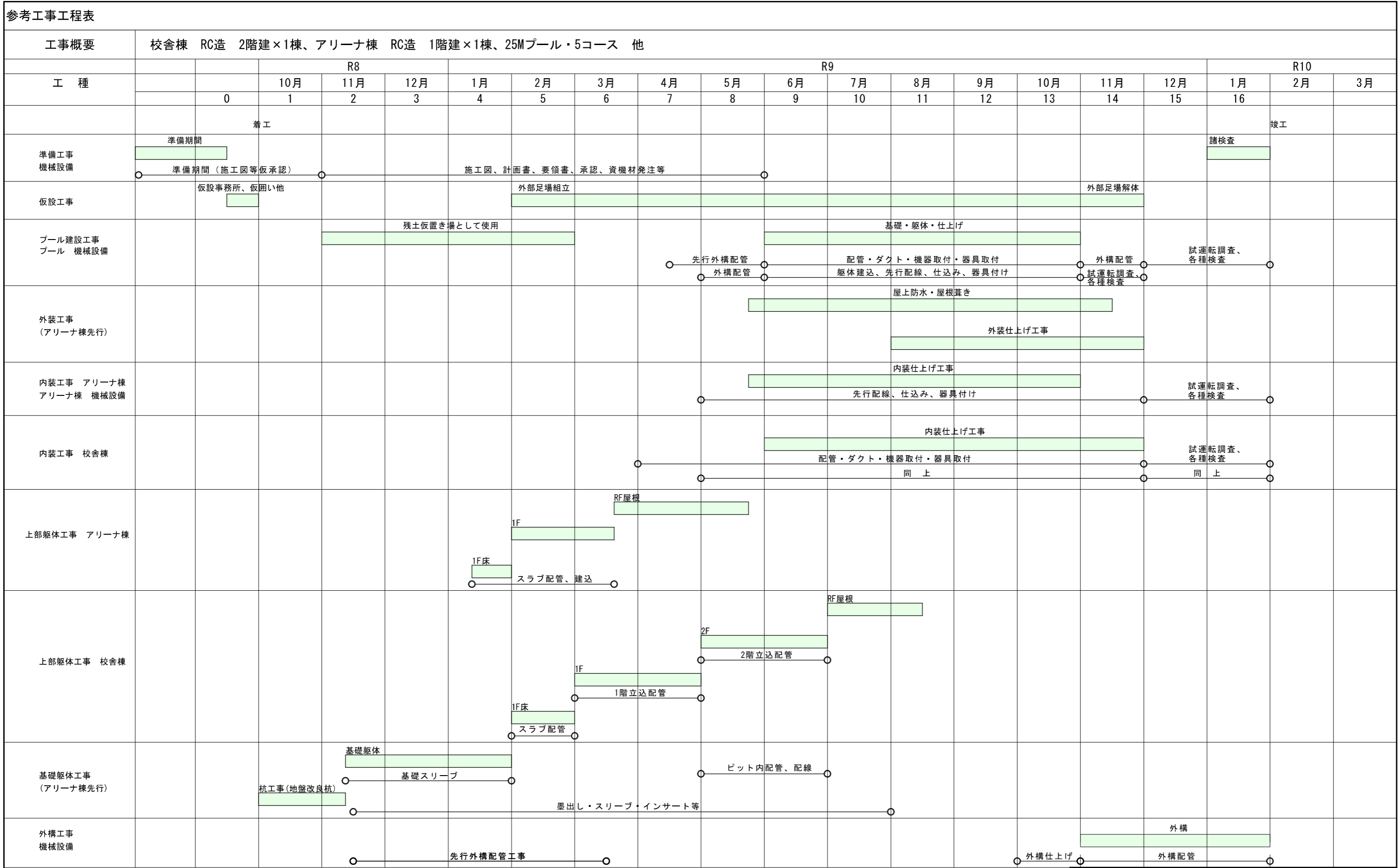
設計者 樹異設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透 樹異設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和 樹長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔	工事名 やまと学園建設工事 (建築工事)		No. A- 004	
	図名	特記仕様書4		
設計	光市建設部建築住宅課 級建築士登録第 号			縮尺 (A1) - 縮尺 (A3) -
部長	課長	係長	製図	写図
令和 8 年		5 月		

3 4	粘土瓦葺 (13.4.2~3) とい (13.5.2~3)	断熱張り ・ 行う ・ 行わない	左 官 工 事	① モルタル塗り (15.3.2.5)	材料 ・ 吸水調整材(製造所:評価名簿による) ・ 防水剤(製造所:評価名簿による) ・ 既製目地材の適用及び形状は図示による 工法 床の目地 ・ 設ける 目地割り ・ 2m程度、最大目地間隔3m程度 目地の種類 ・ 押し目地 ・ 設けない	表15.3.2	④ 木製建具 (16.7.2~4)	材料 図示による 含水率 ・ A種 ・ B種 形状及び仕上げ フラッシュ戸 表16.7.6 空気穴を2箇所以上に設けること 表面板の厚さ 普通合板 ・ 2.5mm以上 ・ 天然木化粧合板 ・ 3.2mm以上 ・ 特殊加工化粧合板 ・ 2.4mm以上 ・ ミディアムデンシティファイバーボード(MDF) ・ 2.5mm以上 かまち戸、ふすま、戸ぶすま、紙張り障子の見込み寸法 図示による 工法 引き戸の召し合せかまち(・いんろう付き ・) 取合い ・ 標準詳細図4- - による ・ 図示による 材質、形状及び寸法 図示による 評価名簿によるもの シリンダー箱錠、シリンダー本締り錠 ドアクローザー (・パラレル型 ・) ヒンジクローザー (・丁番形 ・ 持出し吊り込み型 ・ 中心吊り込み型 ・) フロアヒンジ (・中心吊り込み(両自由) ・) ・マスターキー ・有()組 ・無																		
		材料種 ・ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(VP)(カラー) ・ ルーフドレン(評価名簿による) ・ ステンレス管 表13.5.1 とい受金物及び足金物の材種及び取付け間隔 ・ 表13.5.2による(溶融亜鉛めっきを行ったもの) 鋼管製といの防露巻き ・ 行う ・ 表13.5.4による ・ 図示による ・ 行わない ルーフドレン 取合い ・ 標準詳細図5- - による ・ 図示による							② 仕上塗材仕上げ (15.6.2)	⑤ 建具用金物 (16.8.2~4)	⑥ 重量シャッター (16.11.2~3)	形式及び機構 種類 図示による 安全装置の設置箇所 ・ 図示による 防火又は、防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、連動制御盤及び煙感知器は別途とする。 耐風圧強度(管理用シャッター、外壁用防火シャッター) ・ 図示による 開閉機能による種類 ・ 上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式 表16.11.1 危害防止装置 標準仕様書16.11.2(4)(9)による シャッターケース(防火・防煙以外) ・ 設ける ・ 設けない 材料(製造所:評価名簿による) スラット及びシャッターケース用鋼板 種類() めっきの付着量 ・ Z12又はF12を満足するもの														
		① 工法(受材) (14.1.3)											あと施工アンカーの引抜き耐力の引張試験 設計用引張強度 ()KN/本 確認用引張強度 ()KN/本 アンカーの種類(・金属系 ・ 接着系) 径 ()mm 表14.2.1	③ 鉄鋼の垂鉛めっき (14.2.2)	⑥ ① アルミニウム製建具 (16.2.2~5)	性能値等 外部に面するアルミニウム製建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-1 ・ H-2 耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 材料(製造所:評価名簿による) 網戸等 防虫網の材質 材質 線径 網目 ・ ステンレス製(SUS316) ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 合成樹脂製 防鳥網の材質 ・ ステンレス製(SUS304)径1.5mmピッチ15mm 結露水の処理方法 図示による 水切り、ぜん板等 図示による 簡易気密ドアセット(表16.4.1) ・ 適用する ・ 適用しない 外部に面する鋼製建具の耐風圧性(表16.2.1) ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-1 ・ H-2 耐震ドアセットの面内変形追従性の等級 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 材料(製造所:評価名簿による) ・ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ 形鋼 鋼板類 鋼板 厚さ(片開き、親子開き及び両開き戸の1枚のとの有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える部分) ・ めっきの付着量 ・ Z12又はF12を満足するもの ステンレス鋼板 種類 ・ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS430J1 ・ 図示による	⑦ 軽量シャッター (16.12.2~4)	形式及び機構 開閉方式 ・ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用) 表16.12.1 耐風圧強度 ・ 図示による 安全装置 急降下停止装置 ・ 設置する ・ 設置しない 材料(製造所:評価名簿による) スラットの材質 ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3312) めっきの付着量 ・ Z06又はF06を満足するもの								
		② アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1)											種別 被膜又は複合被膜の種類 施工箇所 種別 被膜又は複合被膜の種類 施工箇所 表14.2.1						③ ② 鋼製建具 (16.1.3) (16.4.2~4) (16.6.3)	⑧ オーバーヘッドドア (16.13.2~3)	形式及び機構 セクション材料による区分 ・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ 耐風圧性能JIS A 4715による 強さの区分 (・500Pa ・ 750Pa ・ 1000Pa ・ 1250Pa)に耐えるもの 開閉形式による区分 ・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 収納形式による区分 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形 材料(製造所:評価名簿による) ガイドレールの材質 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 種類 ・ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・					
		③ 鉄鋼の垂鉛めっき (14.2.2)											種別 被膜又は複合被膜の種類 施工箇所 種別 被膜又は複合被膜の種類 施工箇所 表14.2.2									③ ③ 鋼製軽量建具 (16.5.2~4)	⑨ ガラス (16.14.2~4)	板ガラス(標準仕様書の規定による材料又は評価名簿による) 下記以外(品種・厚さの呼び等)は建具表による。 ・ フロート板ガラス(JIS R 3202による) ・ 型板ガラス(JIS R 3203による) ・ 網入板ガラス(JIS R 3204による) ・ 線入板ガラス(JIS R 3204による) ・ 合わせガラス(JIS R 3205による) ・ 強化ガラス(JIS R 3206による) ・ 熱線吸収板ガラス(JIS R 3208による) ・ 複層ガラス(JIS R 3209による) ・ 熱線反射ガラス(JIS R 3221による) ・ 倍強度ガラス(JIS R 3222による)		
		④ 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2~4)											野縁等の種類 ⊙ 屋内 (⊙ 19形 ・) ⊙ 屋外 (⊙ 25形 ・) 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔は図示による。 屋外の野縁の間隔 ・ 図示による 工法 構成 ・ 標準詳細図3- - による ・ 図示による 開口部の補強方法 吊りボルトの間隔が900を超える場合() ・ 天井のふとところが3mを超える場合(補強箇所及び補強方法は図示による) ・ 天井下地における耐震性を考慮した補強(範囲及び補強方法は図示による) ・ 屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強(範囲及び補強方法は図示による)												⑨ ガラス (16.14.2~4)	形式及び機構 ガイドレールの材質 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 種類 ・ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・
		⑤ 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)											スタッド、ランナー等の種類 ・ 50形 ・ 65形 ・ 90形 ・ 100形 ・ スタッドの高さが5.0mを超える場合 図示による ・ 開口部の補強 図示による 構成 ・ 標準詳細図2- - による ・ 図示による													
⑥ 金属成形板張り (14.6.2~3)	種別 製法 表面処理 寸法(mm) 伸縮継手 形状 適用箇所 ・ アルミ「D」型 ・ 押し出し形材 ・ BB-1種 板幅 ・ 設ける(図示) ・ 図示 ・ ロール ・ BB-2種 板厚 ・ 設けない	⑨ ガラス (16.14.2~4)	形式及び機構 ガイドレールの材質 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 種類 ・ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・																							
⑦ アルミニウム製笠木 (14.7.2~3)	取付け用下地 ・ JIS A 6517(建築用鋼製下地材(壁・天井)) 押出し形材 表14.7.1 部材の種類 ⊙ 250形 ・ 300形 ・ 350形 表面処理 ・ BB-1種 ・ BB-2種 笠木の固定金具の固定法等 ・ 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を証明する書類を監督職員に提出する			⑨ ガラス (16.14.2~4)	形式及び機構 ガイドレールの材質 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板 種類 ・ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・																					

設計者 樹葉設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透 樹葉設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和 樹長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔	工事名 やまと学園建設工事(建築工事)					No. A- 005
	図名	特記仕様書5				縮尺(A1) - 縮尺(A3) -
設計	光市建設部建築住宅課 級建築士登録第 号					
部長	課長	係長	製図	写図	令和 8年 5月	

④	トイレブース (20.2.5)	工法 あと施工アンカー 材質 () 寸法 ()	排水工事	1 一般事項 ② 屋外雨水排水 (21.2.1~3)	屋外排水の系統図、勾配、配管の出入高さ等は図示によるが、施工図にて検討し、監督職員に提出すること	5 コンクリート舗装 (22.5.2~6)	材料等 舗装 構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による 厚さ ・ 70mm (歩行者用通路) ・
		形状及び寸法 ① 標準詳細図6 - による ・ 図示による パネル表面材 ① メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板 エッジ材質形状 ① アルミRエッジ ・ 脚部材質形状 ① 幅木 (① SUS304 ・) ① 脚具 (① SUS304 ・)			排水管用材料等 表21.2.1		材料等 種類 構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による 種類 構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による
⑤	手すり (20.2.6)	製造所：評価名簿による 材料の種類 ・ 鋼 ・ ステンレス ・ アルミニウム 仕上げ ① 図示による	③	③ 街きよ、緑石及び側溝 (21.3.1~2)	管きよの勾配は図示なき限り1/100以上とする。 土かぶり図示なき限り600mm以上とする。 排水樹の種類 (① プレキャスト製品 ・ 現場打ちコンクリート ・ 浸透樹 ・) ・ 標準詳細図 (・9 - -) ・ 図示による 樹の泥だめは図示なき限り150mm以上とする。 樹ふたの種類 (適用荷重：) ・ 鋳鉄製 製造所：評価名簿による ① 鋼製 ・ ステンレス製 ・ コンクリート製	6 カラー舗装 (22.6.2~6) 7 透水性アスファルト舗装 (22.7.2~6) ⑧ ブロック系舗装 (22.8.2~3)	試験 平たん性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度とし、散水の上、目視確認 コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ・ 行わない 測定箇所数は500㎡ごと及びその端数につき1箇所 舗装の構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による 種類、配合、施工、試験等は図示による。 舗装 構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による 種類、配合、施工、試験等は図示による。
⑥	階段滑り止め (20.2.7)	材種 ステンレス製 (① 接着工法 ・ 埋込工法) 形状 () 寸法 () フラットエンド ① 有り (・ タイヤと同材 ① ステンレス鋼) ・ 無 型式 ① ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り 幅 ① 約35mm			① 一般事項 ② 路床 (22.2.2~5)		試験 配管戻しに先立ち漏れがないことを確認すること。 さらに、全ての系統完了後、通水試験を行うこと。 ・ 満水試験の実施 ・ 注水試験 (浸透樹) の実施 グレーチング
7	黒板及びホワイトボード (20.2.9)	・ 黒板 種類 ・ 鋼製黒板 ・ ほうろう黒板 ① ホワイトボード 種類 ・ ほうろう ・ ・ 対人衝突防止表示 ① 図示による ・ 非常用進入口 ・ 図示による ① 案内板 ① 施設案内板 (① 図示による) ・ 各階案内板 (・ 標準詳細図8 - - による ・ 図示による) ・ 視覚障害者用案内板 (・ 図示による) ・ 標準詳細図8 - - による ① 図示による ・ 市販品 (製造所、品番) ・ 標準詳細図8 - - による ① 図示による ・ 市販品 (製造所、品番) ・ 館名文字 ・ 切抜文字 (・ ステン製 ・ 黄銅製) ・ 箱文字 (・ ステン製 ・ 黄銅製) 字数 () 文字の大きさ (×) ・ 標準詳細図8 - 3 1 - による ① 図示による	① 一般事項 ② 路床 (22.2.2~5)	舗装の仕上高さ、横断勾配等は図示によるが、施工図にて検討し、監督職員に提出すること。 横断勾配は原則2%以上とする。 材料等 透水性舗装に用いるフィルター層 ・ 設ける (図示による) ① 設けない 路床安定処理 ・ 行う (・ 添加材による安定処理 ・ 置換) ① 行わない ・ 添加材料 (・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメント ・ フライアッシュセメント ・ 生石灰 ・ 消石灰) 添加量： kg/m3	12 車止め 13 舗装版切断	路面表示用塗料 (JIS K 5665 (路面表示用塗料)による) ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 施工方法 ① 溶融式 ・ ペイント式 (・ 溶剤型 ・ 水性型) 幅 ① 100 ・ 150 ・ 色、形状等は図示による ・ 標準詳細図 (9- -) ・ ペイント 取付位置、固定方法は図示による。 切断作業時に発生する排水を回収し、産業廃棄物として適正に処理すること。 回収した排水を現場から搬出する場合は、搬出時点で排水のpHを測定し、その結果を写真等に記録すること。この際、pHが12.5以上の場合には特別管理型産業廃棄物となることに留意すること。 pHの測定方法 (・ 携帯式簡易測定器 ・) 処理施設、処理方法、運搬方法等は任意とするが、産業廃棄物の種類・取扱いについては山口県環境生活部及び下関市環境部 (下関市内のみ) の取扱いに準ずること。 監督職員へマニフェストを提示する際、併せてpHの測定結果の提示を行うこと。	
⑧	表示 (20.2.11)	・ 対人衝突防止表示 ① 図示による ・ 非常用進入口 ・ 図示による ① 案内板 ① 施設案内板 (① 図示による) ・ 各階案内板 (・ 標準詳細図8 - - による ・ 図示による) ・ 視覚障害者用案内板 (・ 図示による) ・ 標準詳細図8 - - による ① 図示による ・ 市販品 (製造所、品番) ・ 標準詳細図8 - - による ① 図示による ・ 市販品 (製造所、品番) ・ 館名文字 ・ 切抜文字 (・ ステン製 ・ 黄銅製) ・ 箱文字 (・ ステン製 ・ 黄銅製) 字数 () 文字の大きさ (×) ・ 標準詳細図8 - 3 1 - による ① 図示による	③ 路盤 (22.3.2~5)	試験 埋め戻し及び建設発生土の処理は「3. 土工事」による。 硬質ポリ塩化ビニル管継手 ・ 接着剤 ・ ゴム輪 ・ 材料等 (① プレキャスト製品 ・ 現場打ちコンクリート ・) 街きよ、緑石 ① 標準詳細図9 - - による ・ 図示による) 側溝 ① 標準詳細図9 - - による ・ 図示による) 側溝ふた ① プレキャスト製品 ・ 現場打ちコンクリート ① グレーチング) 埋め戻し及び建設発生土の処理は「3. 土工事」による。		12 車止め 13 舗装版切断	材料等 舗装の構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による 路盤の厚さ () 試験 路盤厚さ：500㎡ごと及びその端数につき1箇所 締固め試験：1000㎡以下3箇所、1000㎡以上はさらに1000㎡ごと及びその端数につき1箇所加算する。
⑩	タラップ (20.2.12)	防火性能を有するものは図示による	④ アスファルト舗装 (22.4.2~6)	材料等 舗装 構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による 厚さ () 加熱アスファルト混合物等の種類 表22.4.4 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)	12 車止め 13 舗装版切断		試験 平たん性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度とし、散水の上、目視確認 アスファルトコアの採取切取試験 ・ 行う ・ 行わない 供試体は2000㎡以下ごとに3個及びその端数ごとに1個採取すること。 採取位置は監督職員との協議による。 締固め度は、現場密度が基準密度 (3個の平均値) の94%以上とする。 アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない
10	ブ ラ イ ン ド (20.2.14)	カーテンレール及び付属金物	③ 路盤 (22.3.2~5)	試験 六価クロム溶出試験 ・ 行う (配合設計段階 検体 施工後 検体) ・ 行わない 路床土の支持力比 (CBR) 試験 (JIS A 1211による) ・ 行う (目標CBR：) ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う (・ 3ヶ所 ・) ① 行わない 現場CBR試験 ・ 行う (目標CBR：) ① 行わない 砂の粒度試験 ・ 行う ① 行わない 路床仕上面及び高さの測定は500㎡ごと及びその端数につき1箇所		12 車止め 13 舗装版切断	材料等 路盤の構成 ① 標準詳細図9- - による ・ 図示による 路盤の厚さ () 試験 路盤厚さ：500㎡ごと及びその端数につき1箇所 締固め試験：1000㎡以下3箇所、1000㎡以上はさらに1000㎡ごと及びその端数につき1箇所加算する。
11	カーテンレール (20.2.16)	施工箇所 強さによる区分 材料による区分 仕上げ 形状 付属金物 ・ 10-90 ・ アルミニウム及びアルミニウム合金の押し成形板 ・ 鋼製 ・ 樹脂製 カーテンレール幅は原則として、間口幅より両端それぞれ100mm程度延長する	④ アスファルト舗装 (22.4.2~6)	試験 平たん性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度とし、散水の上、目視確認 アスファルトコアの採取切取試験 ・ 行う ・ 行わない 供試体は2000㎡以下ごとに3個及びその端数ごとに1個採取すること。 採取位置は監督職員との協議による。 締固め度は、現場密度が基準密度 (3個の平均値) の94%以上とする。 アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない	12 車止め 13 舗装版切断		材料等 舗装 構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による 厚さ () 加熱アスファルト混合物等の種類 表22.4.4 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)
⑫	点 検 口	① 屋上 材種 ・ ステンレス製 寸法(mm) ・ 径550 ① 径600 ・ 500×500 ・ 鋼製 寸法(mm) ・ 径550 ・ 500×500 錠 ・ 有 ・ 無 ① 天井 材種 ・ アルミニウム製 寸法(mm) ・ 450×450 ・ 600×600 用途区分 目地形状による区分 ・ 一般形 ・ 外枠・内枠とも額縁タイプ ・ 外枠額縁・内枠目地タイプ ・ 外枠目地・内枠額縁タイプ ・ 外枠・内枠とも目地タイプ ・ 密閉形 ・ 内枠のみ額縁タイプ 製造所：評価名簿による 錠 ・ 有 ・ 無 ① 床 材種 ・ アルミニウム製 寸法(mm) ・ 450×450 ・ 600×600 ・ ステンレス製 寸法(mm) () ・ 鋼製 寸法(mm) () 用途区分 ・ 一般形 ・ 密閉型 ・ 結露防止形 使用箇所による区分 ・ 屋内外用 ・ 屋内用 仕上げ材による区分 ・ 貼物用 ・ 充填用 ・ 貼物・充填用 目地形状による区分 ・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 黄銅製 錠 ・ 有 ・ 無 製造所：評価名簿による 材質 黒御影石 (文字彫込共) (施工箇所：) 寸法 H=100×W=300×t=30	④ アスファルト舗装 (22.4.2~6)	試験 平たん性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度とし、散水の上、目視確認 アスファルトコアの採取切取試験 ・ 行う ・ 行わない 供試体は2000㎡以下ごとに3個及びその端数ごとに1個採取すること。 採取位置は監督職員との協議による。 締固め度は、現場密度が基準密度 (3個の平均値) の94%以上とする。 アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない		12 車止め 13 舗装版切断	材料等 舗装 構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による 厚さ () 加熱アスファルト混合物等の種類 表22.4.4 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)
⑬	完成年月版	材質 黒御影石 (文字彫込共) (施工箇所：) 寸法 H=100×W=300×t=30	④ アスファルト舗装 (22.4.2~6)	試験 平たん性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度とし、散水の上、目視確認 アスファルトコアの採取切取試験 ・ 行う ・ 行わない 供試体は2000㎡以下ごとに3個及びその端数ごとに1個採取すること。 採取位置は監督職員との協議による。 締固め度は、現場密度が基準密度 (3個の平均値) の94%以上とする。 アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない	12 車止め 13 舗装版切断		材料等 舗装 構成 ・ 標準詳細図9- - による ・ 図示による 厚さ () 加熱アスファルト混合物等の種類 表22.4.4 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13)

					No. A- 007	
工事名 やまと学園建設工事 (建築工事)					図名 特記仕様書7	
設計者 榊異設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透 榊異設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和 榊長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔					設計 光市建設部建築住宅課 級建築士登録第 号	
縮尺 (A1) - 縮尺 (A3) -		部長		課長	係長	製図 写図
令和 8年 5月						



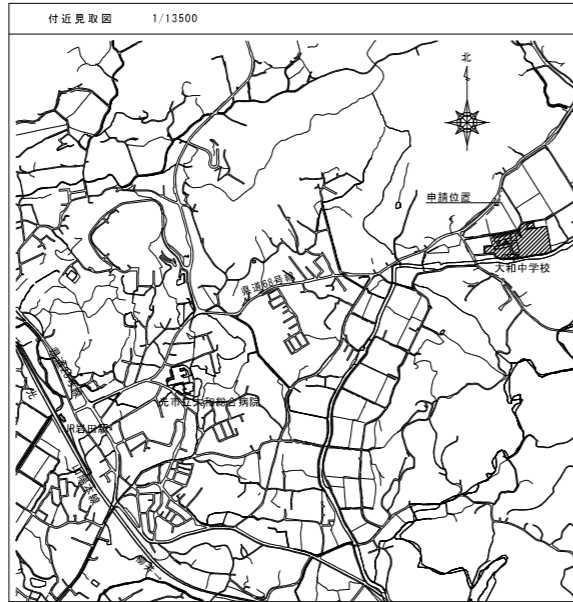
工事名	やまと学園建設工事（建築工事）				No.	A- 008
図名	参考工事工程表				設計	光市建設部建築住宅課
設計	級建築士登録第 号				縮尺(A1)	-
部長	課長	係長	製図	写図	縮尺(A3)	-
					令和	8年
						5月

設計者
 榎葉設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 榎葉設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 榎長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

工事区分	工事内容	建築	電気	機械	昇降機	別途	工事区分	工事内容	建築	電気	機械	昇降機	別途	工事区分	工事内容	建築	電気	機械	昇降機	別途										
1 仮設工事	(1) 仮囲い、足場、橋脚等の架け直し維持補修	○					9 消火器・消火栓 自動火災報知設備	(1) 消火器本体			○			16 盤操作、制御盤 配管配線及び接続	(1) 建築工事に含む設備機器附属の 制御・操作盤の配線	○	○				25 昇降機設備	(1) 昇降機工事一式			○					
	(2) 監督員事務所の架け直し備品維持補修	○						(2) 消火器ボックス	○						(2) 機械設備工事に含む設備機器附属の 制御操作盤の配線	○	○	○					(2) 昇降機の築造及び乗場の開口	○						
	(3) その他の仮設物及び機械器具等	○	○	○	○			(3) 消火栓ボックス			○				(3) エアコンの室内、室外ユニットの間の渡り配線	○	○	○					(3) 軌条、中間ビーム、プラットフォーム昇降路内 の鋼製部材一式				○			
	(4) 工事用電話、電力、用水、ガス使用料	○	○	○	○			(4) 消火栓用表示灯、火災発信器、ヘルメット	○						(4) 給水ポンプ運転制御盤	○							(4) 出入口扉・三方枠 (掃き取り埋め戻し、補修は建築工事)				○			
	(5) 完成引き渡しまでの試運転等に要する電源、給水、給油、ガス等の供給	○	○	○	○			(5) 消火ポンプ起動操作押ボタン(火報用共)	○						(5) 給水緊急遮断弁設置用制御盤	○							(5) 三方枠				○			
2 スリブ・仮枠・補強	(1) 基礎梁貫通、通水管、人入口	○					10 防火戸、防火シャッター 防煙垂れ壁、シャッター	(1) 防火戸、防火シャッター、防煙壁(煙感知運動) 、シャッター	○					17 フリーアクセス	(1) フリーアクセス本体及び取付用ボルト	○					(1) スリブ・シャッター用配線工事 (昇降路内<昇降機室2次側>)				○					
	(2) 基礎梁、梁、壁、床版等における、設備用ダクト、 配管等の仮枠、箱入れ及び貫通スリブ			○	○			(2) 防火、防煙ダクト(ダクト用)			○					(2) 同上 ケーブル配線に係わる 開口穴明け加工(仕上材共)	○					(2) スリブ・シャッター用配管配線工事 (昇降路外から昇降路内1階制御盤まで<盤1次側>)				○				
	(3) 同上貫通部、開口部の鉄筋補強・鉄骨補強	○						(3) (1)(2)用感知器及び配管、配線工事	○							(3) エアコン集中管理盤	○					(3) スリブ・シャッター用配管配線工事 (昇降路内1階から制御盤まで<盤1次側>)				○				
	(4) 鉄筋コンクリート壁、床版等における埋め込み壁類、 ブレース等の仮枠、箱入れ及び貫通スリブ			○	○		11 排水設備	(1) 屋内、屋外雨水排水工事 (ルーフドレイン、整経、横引管共)	○						18 電気設備	(1) 電源盤、制御器、操作器、ブレーカー	○					(4) 電気関係の操作スイッチ (強弱、24時間換気)	○	取付	○	本体				
	(5) 同上貫通部、開口部の鉄筋補強	○						(2) 同上 放流先接続	○								(2) ドア制御部	○					(5) 昇降機工事着手前の昇降路の清掃				○			
	(6) 鉄筋間仕切壁、既製間仕切壁の 貫通又は穴明け	○						(3) 屋内、屋外排水設備工事(汚水、雑排水)	○								(3) 電源、配線、配管	○					(6) 各層出入口の穴明け、同補修	○						
	(7) 同上取付付枠又は、ボックス			○	○			(4) 同上 放流先接続	○													(7) 軌条・インジケータ・鋼索等のコンクリート 取穴明け及び付用下地鋼材の設置	○							
	(8) 既製間仕切壁の開口部補強穴明けの内、 工場取付部品品は、各工事支給	○						(5) グリーストラップ、プラスチックトラップ	○													(8) エアコンの操作スイッチ	○							
	(9) 天井埋込型機器の天井ボード類の切り込み 及び下地補強	○						(6) 屋外汚水会所	○													(9) エアコン集中管理盤	○							
	(10) 壁埋め込み型設備機器の壁ボード類 の切り込み及び下地補強	○						(7) ビット内差場	○													(10) 全熱交換機装置の操作スイッチ	○							
	(11) (9) (10) の支持金物			○	○		12 衛生器具、 流し台、洗面器	(1) 大小便器、洗面器、手洗器	○						19 電話設備	電話交換機						(11) 換気扇関係の操作スイッチ (強弱、24時間換気)	○	取付	○	本体				
	(12) (9) (10) の塞出し			○	○			(2) 同上 化粧鏡	○													(12) スリブ・シャッター用配管配線工事 (昇降路外から昇降路内1階制御盤まで<盤1次側>)				○				
	(13) 耐火区画、防火壁貫通部のダクト、 配管等の防火処理	○	○	○				(3) 洗面用カウンター	○													(13) スリブ・シャッター用配管配線工事 (昇降路内1階から制御盤まで<盤1次側>)				○				
3 ビット・シャッター・点検口	(1) DS・PS・EPS	○						(4) 洗面化粧鏡	○												(14) 運行監視盤製作工事 (監視室内総合監視盤面へ取付)									
	(2) 点検口(床、壁、天井、シャッター)	○						(5) 洗面用はめ込み洗面器、給水、排水設備	○												(15) 運行監視盤用配管配線工事 (昇降路外より総合監視盤まで)									
	(3) 電力引込工事	○						(6) 洗面用電気温水器・貯湯タンク	○												(16) 運行監視盤用配管配線工事 (昇降路外より総合監視盤まで)									
	(4) 公共下水道への接続(既設宅内最終利用)							(7) 便所内手摺	○												(17) ビット内防水工事									
	(5) 水道加入金・検査手数料					○	(8) 同上下地補強	○												(18) ビット内点検用タラップ										
4 給排水、電気、電話 下水道の引き込み	(1) 給水、ガス工事			○			(9) 既製品流し台及び附属トラップ	○												(19) 昇降路頂部荷掛用フック、吊りビーム設置	○									
	(2) 電話局線引込工事(空配管のみ)		○				(10) 造り付けシンク流し	○												(20) 昇降路頂部の煙感知器	○									
	(3) 電力引込工事	○					(11) 同上 排水トラップ	○												(21) 電源引込工事 (昇降路外から昇降路内1階制御盤まで<盤1次側>)	○									
	(4) 公共下水道への接続(既設宅内最終利用)						(12) ミニキッチン トラップ、照明、換気扇、混合水栓、電気温水器	○												(22) 電源引込工事 (昇降路内1階から制御盤まで<盤1次側>)				○						
	(5) 水道加入金・検査手数料						(13) ミニキッチン 換気扇ダクト、給水管、排水管、管接続	○												(23) 電源引込口の防火区画処理	○									
5 槽類	(1) 消火用水槽兼雑用水槽(コンクリート製)	○					(14) ミニキッチン 給電	○												(24) 火災信号配管配線(無電圧A接点、印加電圧24V)	○									
	(2) 上水用受水槽						(15) フィッティングボード・ベビーチェア	○												(25) ビット内コンセント	○									
	(3) 消火用屋上補給水槽						(16) 洗面ユニット (トラップ、本体、電気温水器、混合水栓)	○												(26) 高線波対策工事				○						
6 コンクリート基礎	(1) 消火ポンプ・給水ポンプ類・オイルポンプ基礎 、小出蒸料槽基礎	○					(17) 洗面ユニット 給水、排水管接続、温水器	○																						
	(2) 高蓋水槽、消火用補給水槽	○					13 浴室 シャワーユニット	(1) シャワーユニット (本体及びユニット内照明、給排水金具、換気扇)	○																					
	(3) 空調用室外機基礎	○						(2) 同上 電源送り	○																					
	(4) 自立壁基礎	○						(3) 同上 換気扇(ダクト、給水、排水管接続) 排水管接続(トラップから1mは、シャワーユニット工事)	○																					
	(5) 機器類のアンカー打ち込み (建築設備の耐震安全性の分類 : 乙類)			○	○			(4) 浴槽																						
	(6) 受変電設備基礎	○						(5) 同上 排水管接続																						
	(7) 設備用ラック			○	○			(6) 洗濯機パン(排水管接続)	○																					
7 電極棒、ポートスイッチ 電磁弁	(1) 受水槽の電極棒							14 換気設備	(1) 天井扇	○																				
	(2) 雑用水兼消火水槽				○		(2) ダクト接続ファン		○																					
	(3) 消火水槽の電極棒				○		(3) 全熱交換機		○																					
	(4) 電極棒の水位調整				○		15 カーテン・ブラインド・遮幕		(1) カーテンボックス・ブラインドボックス	○																				
	(5) (1)～(3)の給電(配管・配線)			○	○				(2) カーテンレール・ブラインド・ロープ・ライント (電動は除く)																					
8 ガラリ	(1) 外壁ガラリ	○						(3) カーテン																						
	(2) 換気用外壁ガラリ(ベントキック)				○			(4) 遮幕																						
	(3) ドア取付又は、これら準ずるもの。	○						(5) 電動ブラインド	○																					
							(6) 同上 電源供給、配管配線	○																						

工事名 やまと学園建設工事(建築工事)					No.
図名 工事区分表					A-009
設計 光市建設部建築住宅課					縮尺(A1) -
級建築士登録第 号					縮尺(A3) -
部長	課長	係長	製図	写図	令和 8年 5月

設計者
 榎葉設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 榎葉設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 榎長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

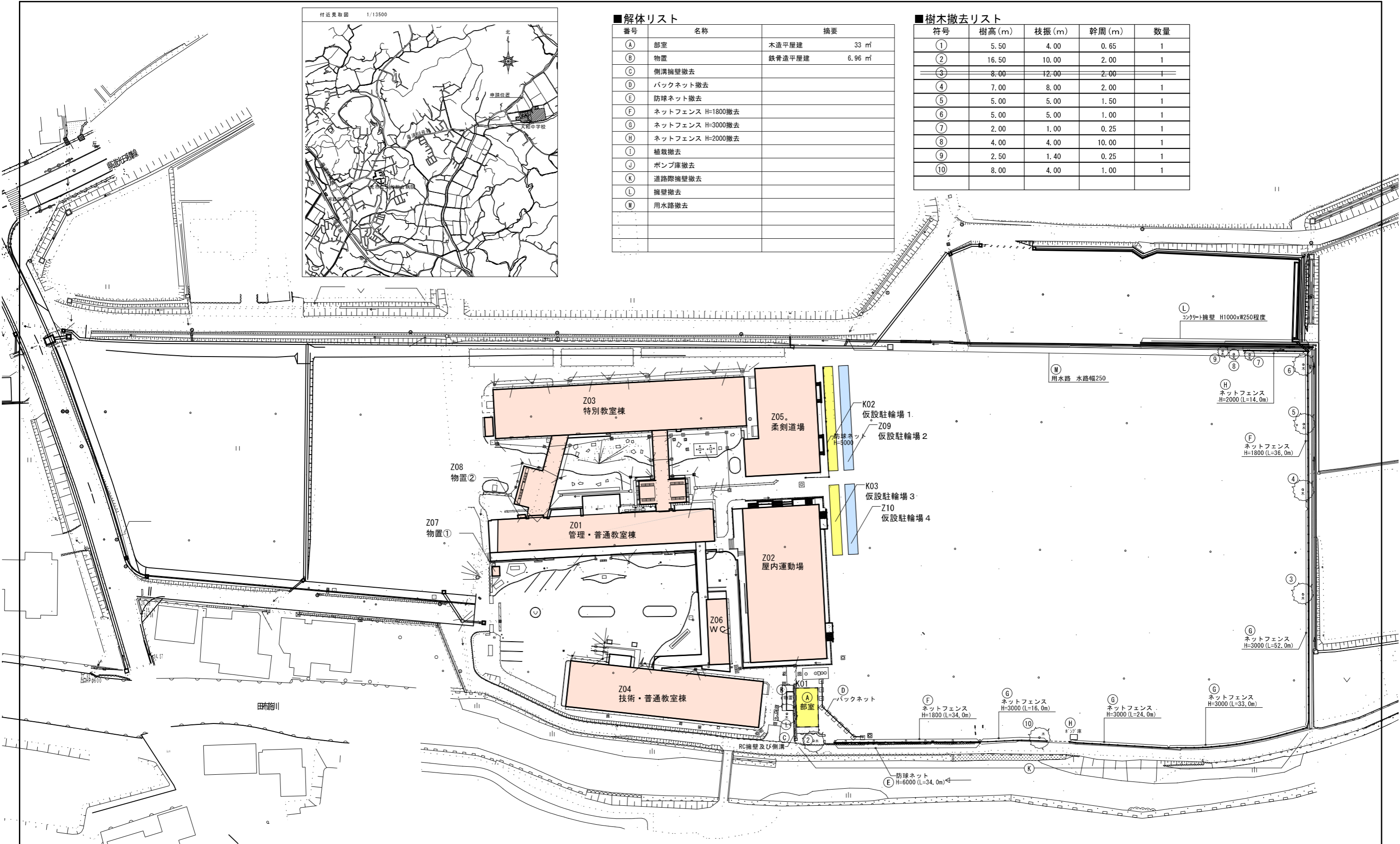


■解体リスト

番号	名称	摘要
Ⓐ	部室	木造平屋建 33 m ²
Ⓑ	物置	鉄骨造平屋建 6.96 m ²
Ⓒ	側溝擁壁撤去	
Ⓓ	バックネット撤去	
Ⓔ	防球ネット撤去	
Ⓕ	ネットフェンス H=1800撤去	
Ⓖ	ネットフェンス H=3000撤去	
Ⓗ	ネットフェンス H=2000撤去	
Ⓘ	植栽撤去	
Ⓙ	ポンプ庫撤去	
Ⓚ	道路際擁壁撤去	
Ⓛ	擁壁撤去	
Ⓜ	用水路撤去	

■樹木撤去リスト

符号	樹高(m)	枝振(m)	幹周(m)	数量
①	5.50	4.00	0.65	1
②	16.50	10.00	2.00	1
③	8.00	12.00	2.00	1
④	7.00	8.00	2.00	1
⑤	5.00	5.00	1.50	1
⑥	5.00	5.00	1.00	1
⑦	2.00	1.00	0.25	1
⑧	4.00	4.00	10.00	1
⑨	2.50	1.40	0.25	1
⑩	8.00	4.00	1.00	1



設計者
 榊野設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 榊野設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 榊野設計 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

工事名 やまと学園建設工事(建築工事)		No. A-010
図名 現況配置図		
設計 光市建設部建築住宅課		縮尺(A1) 1/400
級建築士登録第 号		縮尺(A3) 1/800
部長	課長	係長
製図	写図	令和 8年 5月

A部

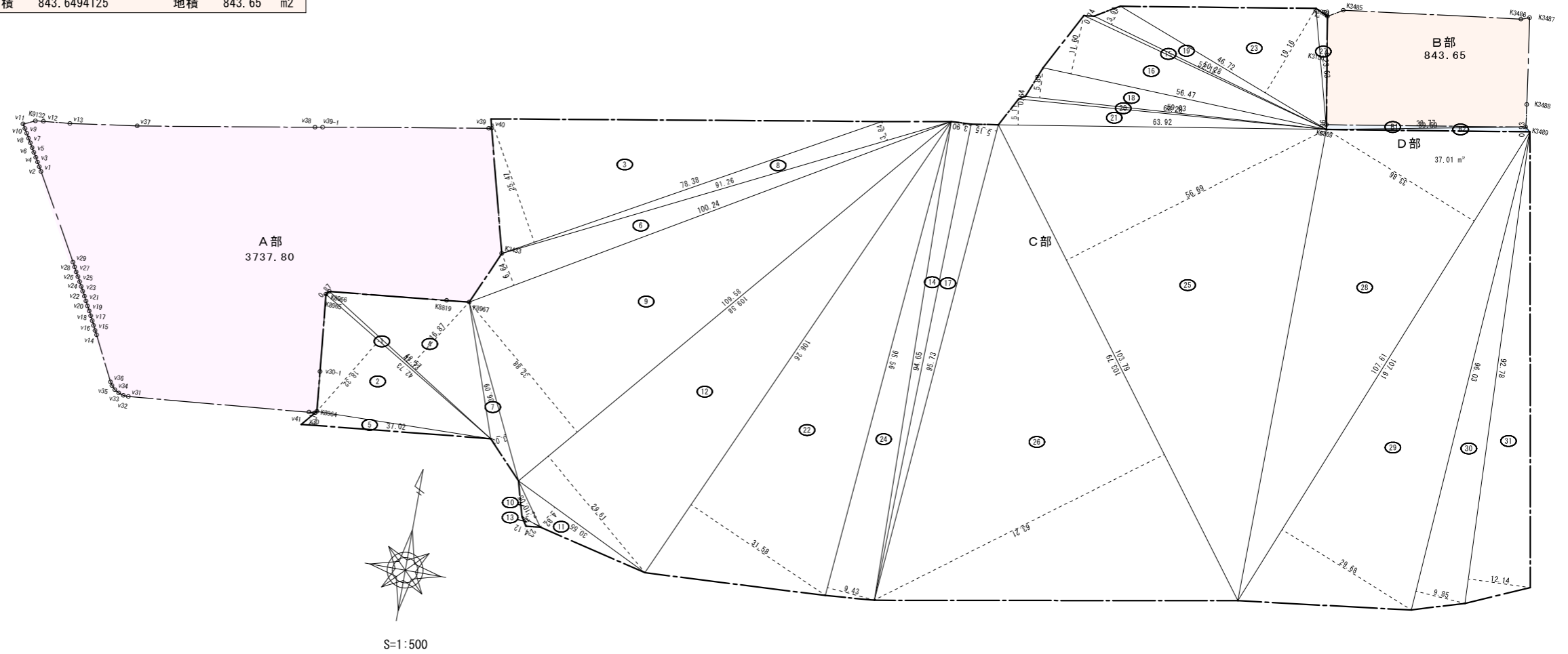
測点	X	Y
K3433	-223262.082	-14298.178
K8967	-223272.495	-14302.762
K8819	-223272.931	-14307.156
K8966	-223275.182	-14329.952
K8965	-223275.849	-14330.556
v30-1	-223290.896	-14329.064
K8964	-223298.645	-14328.295
v30	-223298.971	-14328.572
v41	-223299.077	-14329.779
v31	-223302.162	-14364.924
v32	-223302.125	-14365.921
v33	-223301.842	-14366.877
v34	-223301.332	-14367.734
v35	-223300.625	-14368.438
v36	-223299.965	-14368.852
v14	-223291.436	-14373.114
v15	-223290.598	-14373.534
v16	-223289.705	-14373.985
v17	-223288.814	-14374.439
v18	-223287.925	-14374.896
v19	-223287.037	-14375.356
v20	-223286.150	-14375.819
v21	-223285.265	-14376.285
v22	-223284.382	-14376.753
v23	-223283.500	-14377.225
v24	-223282.620	-14377.699
v25	-223281.741	-14378.176
v26	-223280.864	-14378.656
v27	-223279.988	-14379.139
v28	-223279.114	-14379.625
v29	-223278.242	-14380.114
v1	-223261.981	-14389.291
v2	-223261.111	-14389.785
v3	-223260.244	-14390.282
v4	-223259.379	-14390.784
v5	-223258.516	-14391.290
v6	-223257.656	-14391.800
v7	-223256.798	-14392.315
v8	-223255.995	-14392.802
v9	-223255.091	-14393.356
v10	-223254.241	-14393.883
v11	-223253.420	-14394.397
K9132	-223252.403	-14392.086
v12	-223252.230	-14390.527
v13	-223251.759	-14385.365
v37	-223249.933	-14372.411
v38	-223244.157	-14338.280
v39-1	-223243.909	-14336.814
v39	-223238.508	-14304.895
v40	-223238.412	-14304.330
倍積	7475.606629	
面積	3737.8033145	地積 3737.80 m2

B部

測点	X	Y
K3368	-223188.693	-14147.835
K3485	-223186.976	-14145.010
K3486	-223182.597	-14110.675
K3487	-223182.024	-14109.056
K3488	-223198.726	-14106.617
K3489	-223203.076	-14106.070
K3369	-223209.424	-14144.312
K3156	-223196.009	-14146.554
倍積	1687.298825	
面積	843.6494125	地積 843.65 m2

D部

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
B1	38.77	0.96	37.2192	18.60960
B2	39.59	0.93	36.8187	18.40935
合計				37.01895
敷地面積				37.01 m ²



C部

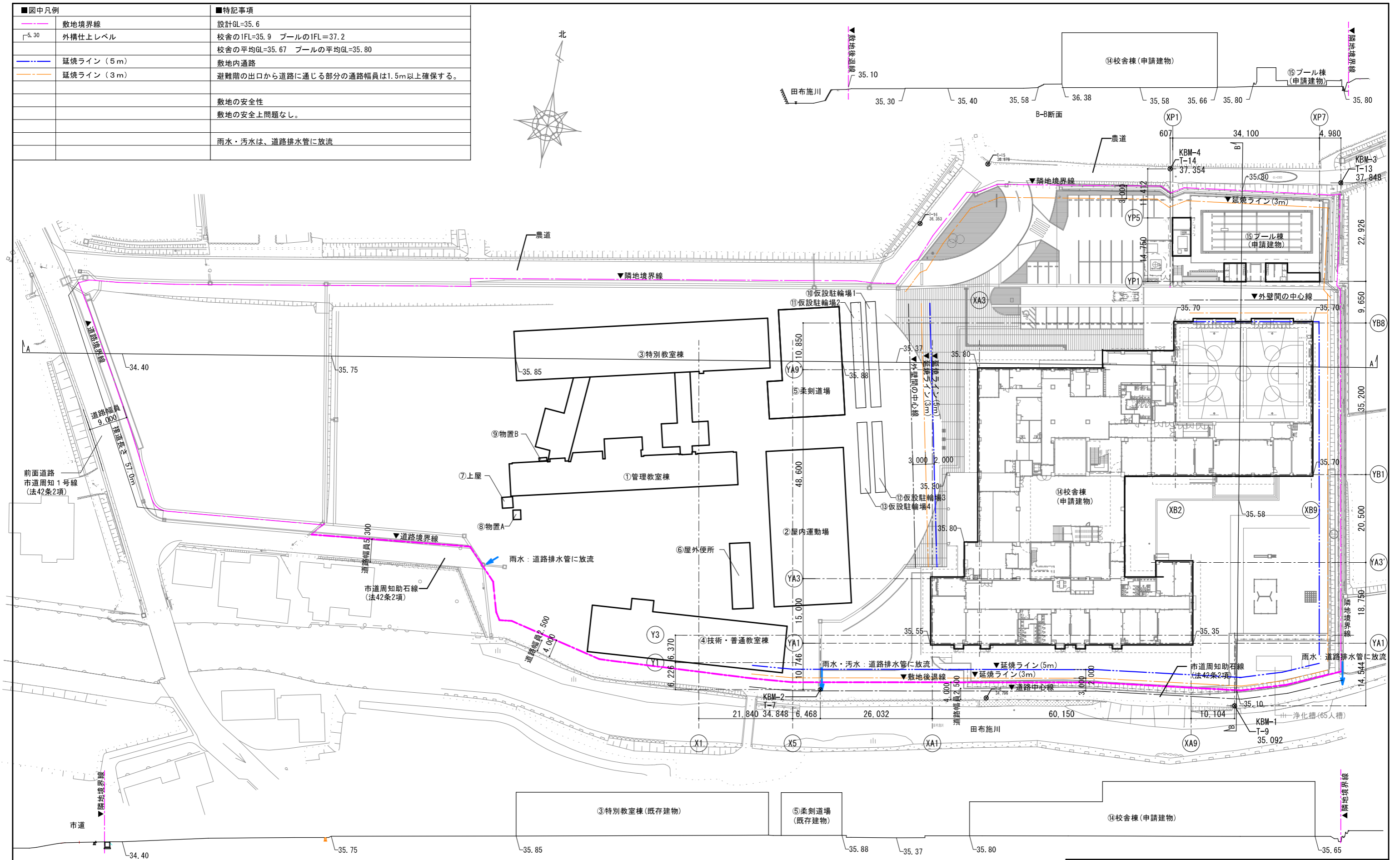
番号	底辺	高さ	倍面積	面積	番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	42.73	0.87	37.1751	18.58755	19	50.28	3.99	200.6172	100.30860
2	42.73	18.32	782.8136	391.40680	20	60.28	0.64	38.5792	19.28960
3	78.38	25.47	1,996.3386	998.16930	21	63.92	5.11	326.6312	163.31560
4	42.57	16.87	718.1559	359.07795	22	106.26	31.58	3,355.6908	1,677.84540
5	37.02	2.76	102.1752	51.08760	23	46.72	19.16	895.1552	447.57760
6	100.24	6.64	665.5936	332.79680	24	95.56	9.43	901.1308	450.56540
7	36.09	3.03	109.3527	54.67635	25	103.79	56.69	5,883.8551	2,941.92755
8	91.26	3.84	350.4384	175.21920	26	103.79	63.21	6,560.5659	3,280.28295
9	109.58	32.88	3,602.9904	1,801.49520	27	23.63	2.09	49.3867	24.69335
10	10.05	2.39	24.0195	12.00975	28	107.61	33.86	3,643.6746	1,821.83730
11	30.55	4.82	147.2510	73.62550	29	107.61	29.68	3,193.8648	1,596.93240
12	109.58	29.61	3,244.6638	1,622.33190	30	96.03	9.85	945.8955	472.94775
13	4.12	1.23	5.0676	2.53380	31	92.78	12.14	1,126.3492	563.17460
14	94.65	3.90	369.1350	184.56750	合計				20,405.45290
15	52.15	0.74	38.5910	19.29550	敷地面積				20,405.45 m ²
16	56.47	11.60	655.0520	327.52600					
17	95.73	5.15	493.0095	246.50475					
18	59.03	5.89	347.6867	173.84335					

合計敷地面積
 $A + B + C + D = 3737.80 + 843.65 + 20405.45 + 37.01 = 25023.91 \text{ m}^2$

設計者
 樹葉設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 樹葉設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 樹長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

工事名		やまと学園建設工事（建築工事）		No.	A- 011
図名	敷地求積図				
設計	光市建設部建築住宅課			縮尺(A1)	1/500
	級建築士登録第 号			縮尺(A3)	1/1000
部長	課長	係長	製図	写図	令和 8年 5月

■ 図中凡例		■ 特記事項	
	敷地境界線	設計GL=35.6	
	外構仕上げレベル	校舎の1FL=35.9 プールの1FL=37.2	
	延焼ライン (5m)	校舎の平均GL=35.67 プールの平均GL=35.80	
	延焼ライン (3m)	敷地内通路	
		避難階の出口から道路に通じる部分の通路幅員は1.5m以上確保する。	
		敷地の安全性	
		敷地の安全上問題なし。	
		雨水・汚水は、道路排水管に放流	

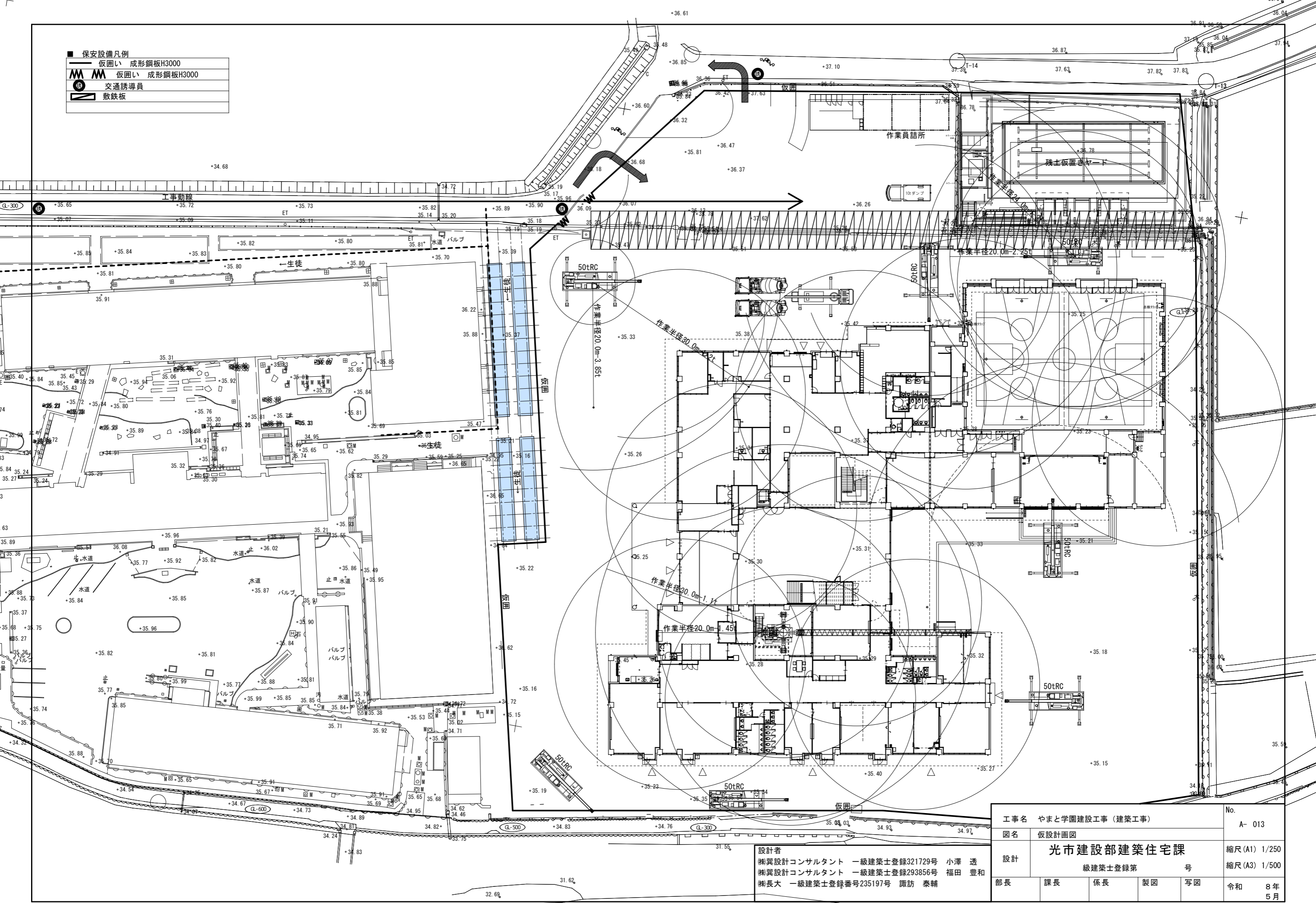


A-A断面

工事名	やまと学園建設工事 (建築工事)	No.	A-012
図名	完成配置図 (校舎新築時)	縮尺	1/400
設計	光市建設部建築住宅課	令和	8年
部長	課長	係長	製図
			写図
			5月

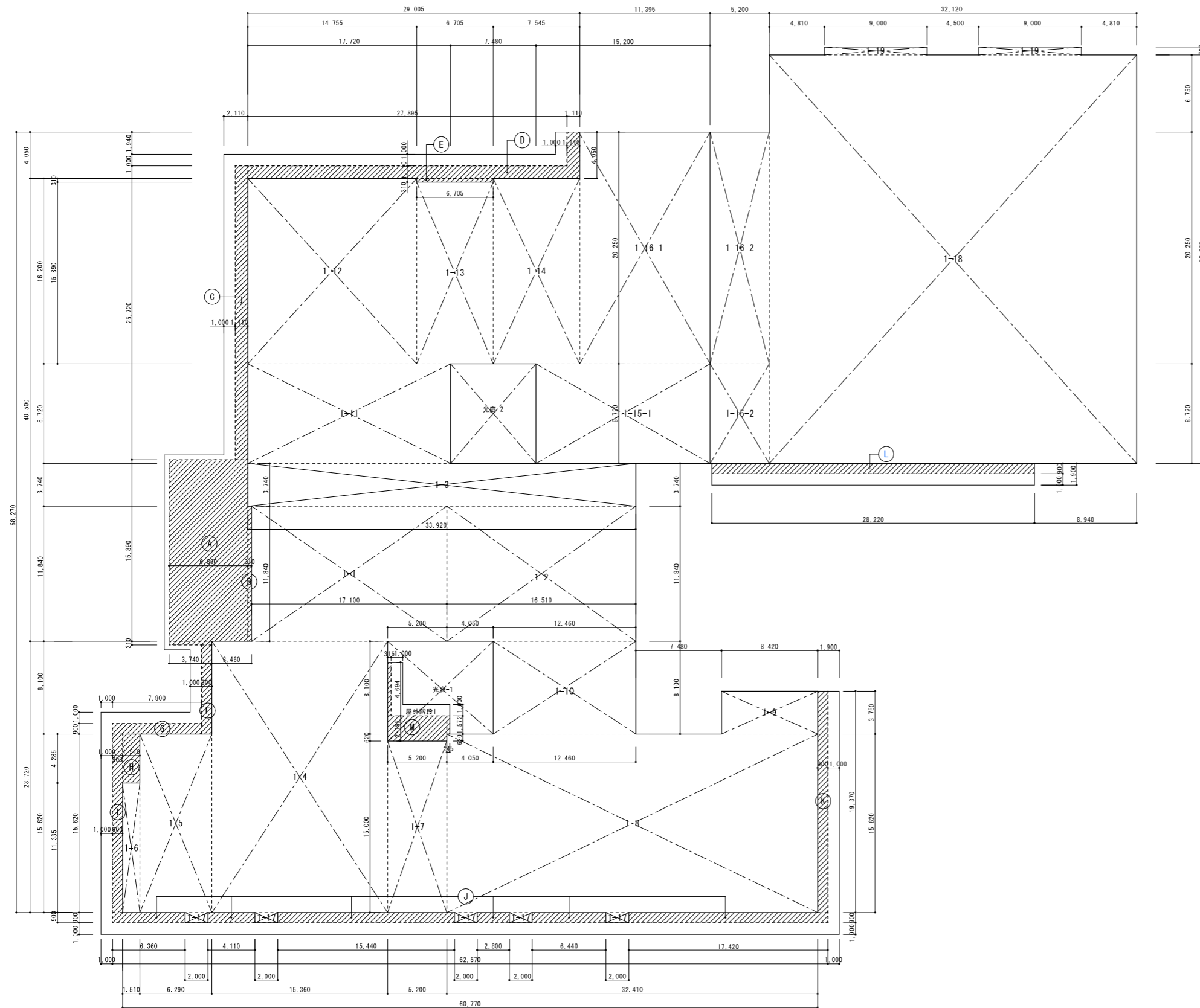
設計者
 樹葉設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 樹葉設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 樹長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

■	保安設備凡例
—	仮囲い 成形鋼板H3000
MM	仮囲い 成形鋼板H3000
⊙	交通誘導員
■	敷鉄板



工事名	やまと学園建設工事 (建築工事)	No.	A- 013
図名	仮設計画図	設計	縮尺(A1) 1/250 縮尺(A3) 1/500
設計	光市建設部建築住宅課	設計	級建築士登録第 号
部長	課長	係長	製図
			写図
			令和 8年 5月

設計者
 樹異設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 樹異設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 樹長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔



1階面積積算図 1/200

—— 建築面積算入部分を示す

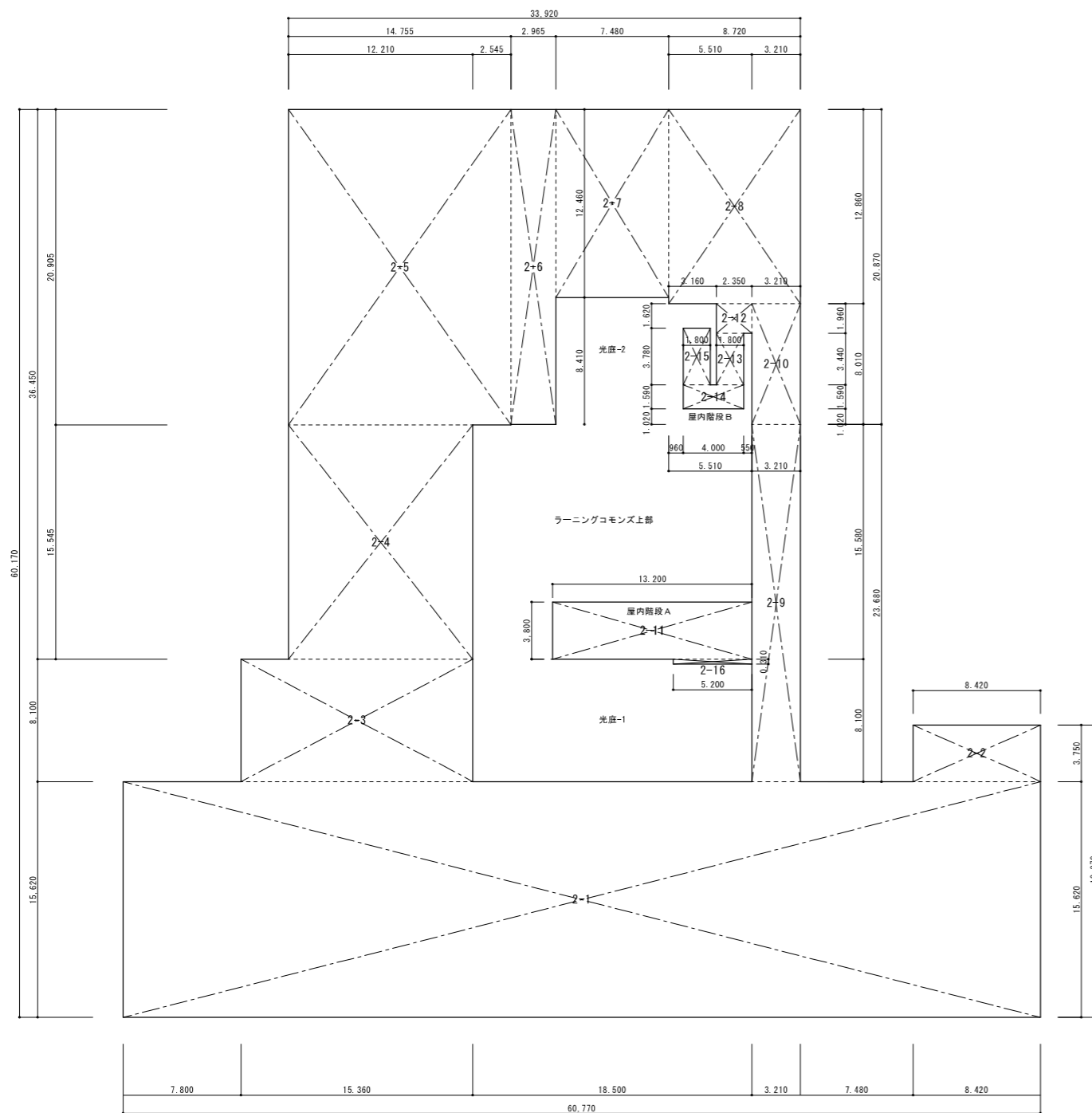
求積表

符号	算式 (m)	面積 (㎡)
1-1	17.100 * 11.840	202.4640
1-2	16.510 * 11.840	195.4784
1-3	33.920 * 3.740	126.8608
1-4	15.360 * 23.720	364.3392
1-5	6.290 * 15.620	98.2498
1-6	1.510 * 11.335	17.11585
1-7	5.200 * 15.000	78.0000
1-8	32.410 * 15.620	506.2442
1-9	8.420 * 3.750	31.5750
1-10	12.460 * 8.100	100.9260
1-11	17.720 * 8.720	154.5184
1-12	14.755 * 16.200	239.0310
1-13	6.705 * 15.890	106.54245
1-14	7.545 * 16.200	122.2290
1-15-1	15.200 * 8.720	132.5440
1-16-1	11.395 * 20.250	230.7488
1-17	2.000 * 0.900 * 5	9.0000
1階 校舎	1-1 ~ 1-19	2715.8669
1-15-2	5.200 * 8.720	45.3440
1-16-2	5.200 * 20.250	105.3000
1-18	32.120 * 35.720	1,147.3264
1-19	9.000 * 0.700 * 2	12.6000
1階 体育館	1-1 ~ 1-19	1310.5704

符号	算式 (m)	面積 (㎡)
Ⓐ	6.890 * 15.890 + 3.740 * 0.310	110.6415
Ⓑ	0.310 * 11.840	3.6704
Ⓒ	1.110 * 25.720	28.5492
Ⓓ	27.895 * 1.110 + 1.110 * 4.050	35.45895
Ⓔ	6.705 * 0.310	2.07855
Ⓕ	0.900 * 8.100	7.2900
Ⓖ	7.800 * 0.900	7.0200
Ⓗ	1.510 * 4.285	6.47035
Ⓘ	0.900 * 15.620	14.0580
⓵	(6.360+4.110+15.440+2.800+6.440+17.420)*0.900	47.3130
Ⓚ	0.900 * 19.370	17.4330
Ⓛ	28.220 * 0.900	25.3980
Ⓜ	5.200 * 2.192 + 0.245 * 1.572 + 0.316 * 4.694	13.26684
建築面積加算分	Ⓐ ~ Ⓜ	318.64779

設計者
 樹葉設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 樹葉設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 樹長大 一級建築士登録番号235197号 飯訪 泰輔

工事名	やまと学園建設工事 (建築工事)	A- 014
図名	1階面積積算図	
設計	光市建設部建築住宅課 一級建築士登録第 号	縮尺 (A1) 1/200 縮尺 (A3) 1/400
部長	課長	係長
製図	写図	令和 8年 5月



2階面積求積図 1/200

床面積表

階	算式	面積
1 階	1-1 ~ 1-19	4,026.43 m ²
2 階	2-1 ~ 2-16	2,048.25 m ²
延べ面積		6,074.68 m ²

建築面積表

建築面積	算式	面積
1階床面積 + (A) ~ (M)		4,345.08 m ²

求積表

符号	算式 (m)	面積 (m ²)
2-1	60.770 * 15.620	949.2274
2-2	8.420 * 3.750	31.5750
2-3	15.360 * 8.100	124.4160
2-4	12.210 * 15.545	189.80445
2-5	14.755 * 20.905	308.453275
2-6	2.965 * 20.905	61.983325
2-7	7.480 * 12.460	93.2008
2-8	8.720 * 12.860	112.1392
2-9	3.210 * 23.680	76.0128
2-10	3.210 * 8.010	25.7121
2-11	13.200 * 3.800	50.1600
2-12	2.350 * 1.960	4.6060
2-13	1.800 * 3.440	6.1920
2-14	4.000 * 1.590	6.3600
2-15	1.800 * 3.780	6.8040
2-16	5.200 * 0.310	1.6120
2 階	2-1 ~ 2-16	2,048.25835

設計者
 樹異設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 樹異設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 樹長大 一級建築士登録番号235197号 飯訪 泰輔

工事名	やまと学園建設工事 (建築工事)	A- 015
図名	2階面積求積図	
設計	光市建設部建築住宅課 一級建築士登録第 号	縮尺 (A1) 1/200 縮尺 (A3) 1/400
部長	課長	係長
製図	写図	令和 8年 5月



1階各室面積求積図 S=1/200

■各室床面積

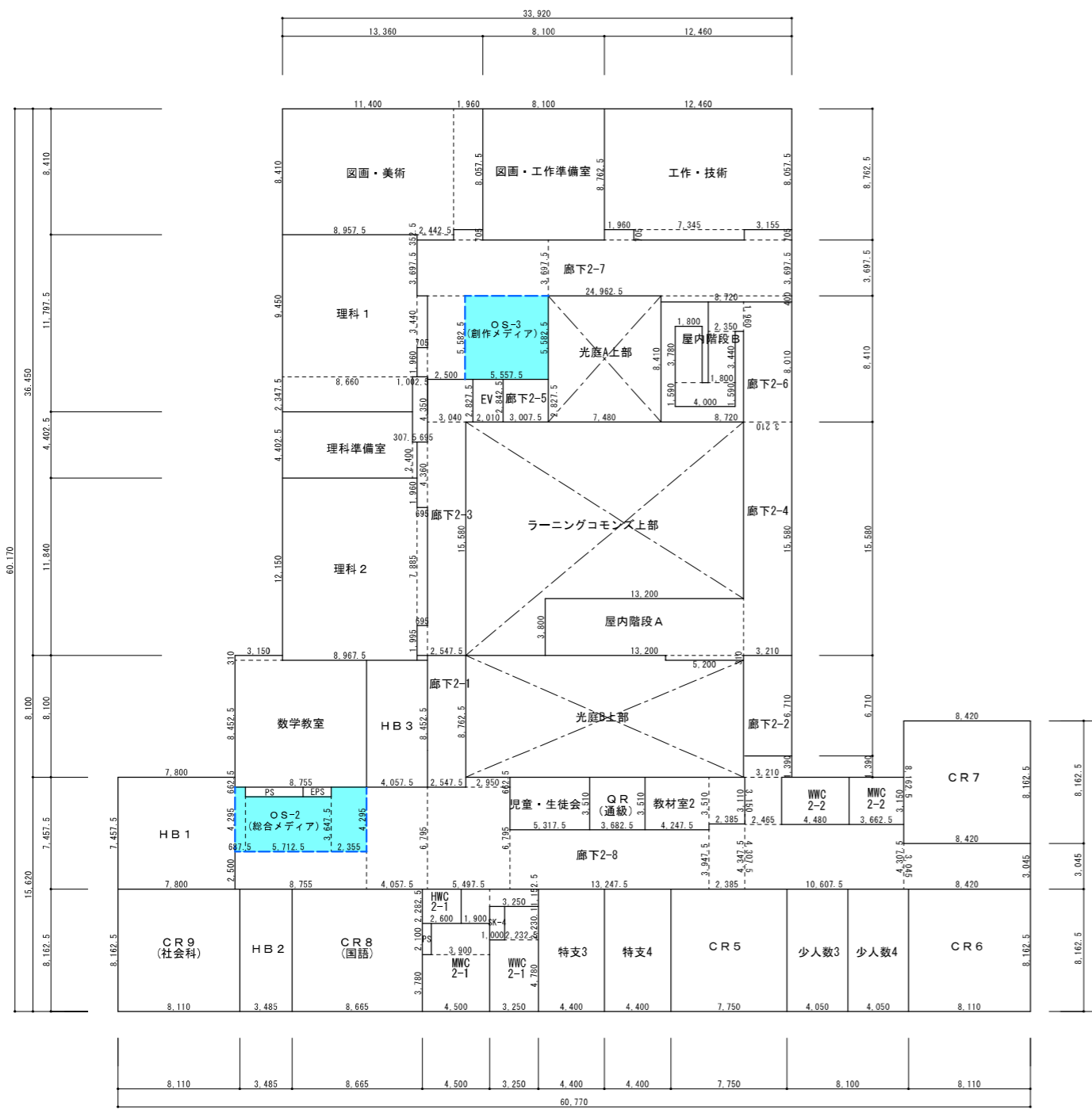
階数	室名	タテ (m)	ヨコ (m)	小計	計	室面積 (㎡)
1階	HWC 1-1	2.2825	2.600	5.9345	5.9345	5.934
	SK-1	2.230	1.000	2.2300	2.2300	2.230
	HWC 1-2	2.300	2.540	5.8420	5.8420	5.842
	SK-3	2.1675	1.1175	2.4221	2.4221	2.422
	MWC 1-2	3.2675	5.8175	19.0086	41.0129	41.012
	WWC 1-2	3.400	1.1175	3.7995		
		3.410	3.2775	11.1762		
		1.110	3.6575	4.0598		
	授乳	1.0925	2.7175	2.9688		
	倉庫2	2.1425	1.8325	3.9261	3.9261	3.926
	廊下1-5	2.1425	1.650	3.5351	3.5351	3.535
	廊下1-6	3.345	9.990	33.4165	51.8621	51.862
	廊下1-7	3.5575	5.185	18.4456		
	廊下1-8	3.8875	5.200	19.8770	39.0357	39.035
	廊下1-9	9.6275	1.990	19.1587		
	廊下1-10	3.0225	9.065	27.3989	27.3989	27.398
	廊下1-11	2.500	10.150	25.3750		
	廊下1-12	4.1475	10.100	41.8897	197.4965	197.496
	廊下1-13	4.1475	4.1325	17.1395		
	廊下1-14	3.5475	5.2175	18.5090		
廊下1-15	6.795	6.4795	44.1505			
廊下1-16	3.045	16.5625	50.4328			
MWC 1-3	4.4125	3.850	16.9811	16.9811	16.981	
WWC 1-3	4.4125	4.2925	18.9406	18.9406	18.940	
体育館	アリーナ	22.865	32.120	734.4238	743.2285	743.229
		0.535	4.810	2.5733		
		0.535	4.500	2.4075		
		0.535	4.810	2.5733		
		0.260	4.810	1.2506		
	多目的ホール (ステージ・音楽室)	12.320	14.020	172.7264	189.0928	189.092
	多目的ホール準備室	3.860	4.240	16.3664		
	多目的ホール準備室	8.460	4.240	35.8704	35.8704	35.870
	器具庫 a	12.320	4.810	59.2592	59.2592	59.259
	器具庫 b 1~4	1.235 × 9.000 × 2		22.2300	22.2300	22.230
更衣3	4.800	3.210	15.4080	15.4080	15.408	
更衣4	4.8275	3.210	15.4962	15.4962	15.496	
防災倉庫	3.135	5.200	16.3020	16.302	16.562	
E V	2.575	2.0525	5.2851	5.2851	5.285	

■各室床面積

階数	室名	タテ (m)	ヨコ (m)	小計	計	室面積 (㎡)
1階	CR 1・WS	11.2525	8.110	91.2577	93.1822	93.182
		0.0825	1.510	0.1245		
	CR 2・WS	8.1625	12.150	99.1743	100.9743	100.974
		0.900	2.000	1.8000		
	特支 1	8.1625	4.4175	36.0578	37.8578	37.857
	特支 2	0.900	2.000	1.8000	37.8578	37.857
		8.1625	4.4175	36.0578		
	少人数 1	8.1625	4.210	34.3641	34.3641	34.364
	少人数 2	8.1625	4.210	34.3641	34.3641	34.364
	多目的室	8.1625	8.100	66.1162	66.1162	66.116
	CR 3	8.1625	8.110	66.1978	66.1978	66.197
	CR 4	8.1625	7.7325	63.1165	64.9165	64.916
		0.900	2.000	1.8000		
	英語教室	8.7625	9.1675	80.3302	80.9984	80.998
	教材室 1	8.100	0.0825	0.6682	16.9438	16.943
		3.2475	5.2175	16.9438		
	OR 1 (通級)	3.3100	4.1325	13.6785	13.6785	13.678
	OS-1	3.6475	6.090	22.2132	66.4772	66.477
		4.280	4.060	17.3768		
	配膳	2.6325	4.900	12.8992	20.6154	20.615
2.690		5.200	13.9880			
保健室	4.3675	6.290	27.4715	85.1223	85.122	
	3.690	0.310	1.1439			
前室	6.210	2.040	12.6684	52.2377	52.237	
	7.630	1.800	13.7340			
廊下1-1	8.7775	5.770	50.6461	27.6887	27.688	
	2.615	1.500	3.9225			
廊下1-2	2.7675	1.500	4.1512	9.6758	9.675	
	3.395	2.850	9.6757			
前室	2.5675	2.040	5.2377	5.2377	5.237	
廊下1-3	2.615	4.250	11.1137			
廊下1-4	3.395	2.900	9.8455	32.7210	32.721	
	2.7675	4.250	11.7618			
廊下1-5	4.520	3.210	14.5092	27.6887	27.688	
	3.580	3.210	11.4918			
昇降口	0.6625	2.5475	1.6877			
昇降口	11.840	9.3675	110.9112	110.9112	110.911	
ランニングコモンズ	11.840	14.0325	166.1448	369.2895	369.289	
	8.115	4.200	34.0830			
職員室 相談コーナー 前室 ランジ	11.840	6.010	71.1584	234.1400	234.140	
	3.740	16.200	60.5880			
職員室 相談コーナー 前室 ランジ	6.090	2.965	18.0568	131.3169	131.317	
	3.9925	2.0525	8.1946			
職員室 相談コーナー 前室 ランジ	3.6575	3.025	11.0639	17.6688	17.669	
	14.660	8.9575	131.3169			
職員室 相談コーナー 前室 ランジ	2.8225	6.260	17.6688	38.2555	38.256	
	4.4175	8.660	38.2555			
職員室 相談コーナー 前室 ランジ	1.000	1.0175	1.0175	20.3623	20.362	
	2.0475	9.945	20.3623			
職員室 相談コーナー 前室 ランジ	4.165	5.7975	24.1465	1.3803	1.380	
	0.6725	2.0525	1.3803			
ミーティングルーム	2.8225	2.400	6.7740	6.7740	6.774	
校長室	6.760	4.810	32.5156	32.5156	32.515	
事務室	4.7125	7.470	35.2023	35.2023	35.202	
倉庫 1	4.7125	2.475	11.6634	11.6634	11.663	
印刷・教材	4.100	5.7975	23.7697	29.7874	29.787	
更衣 1	1.255	4.795	6.0177	15.1501	15.150	
	5.140	2.9475	15.1501			
更衣 2	5.140	2.850	14.6490	14.6490	14.649	
	3.5825	3.025	10.8370			
放送室	6.300	6.705	42.2415	42.2415	42.241	
ホール・地域玄関	9.590	15.655	150.1314	213.1312	213.131	
	0.310	5.210	1.6151			
CS	6.2025	2.8325	17.5685	24.3413	24.341	
	2.1425	0.735	1.5747			
CS	6.610	3.6825	24.3413	24.3413	24.341	
子どもサポートルーム	6.610	3.9450	26.0764	26.0764	26.076	
放課後児童クラブ	8.0425	11.090	89.1913	100.4011	100.401	
	2.6175	4.155	10.8757			
廊下1-3	0.0825	4.050	0.3341	18.8870	18.887	
	6.370	2.965	18.8870			
廊下1-4	8.7625	2.920	25.5865	69.4026	69.402	
	8.410	5.210	43.8161			
屋内階段B	8.7625	17.080	149.6635	149.6635	149.663	
ランチルーム (家庭科室)	8.7625	4.240	37.1530	37.1530	37.153	
ランチルーム準備室	8.7625	4.240	37.1530	37.1530	37.153	
MWC 1-1	3.780	4.500	17.0100			
WWC 1-1	2.100	3.900	8.1900	53.6918	53.691	
	2.2825	1.900	4.3367			
WWC 1-1	4.780	3.2325	15.4513	3.7254	3.725	
	2.230	2.2325	4.9784			
WWC 1-1	1.1525	3.2325	3.7254			

工事名	やまと学園建設工事 (建築工事)	A- 016
図名	1階各室面積表	
設計者	光市建設部建築住宅課	縮尺 (A1) 1/200
設計	級建築士登録第 号	縮尺 (A3) 1/400
部長	課長	係長
製図	写図	令和 8年 5月

設計者	榎葉設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
設計	榎葉設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
製図	榎葉設計コンサルタント 一級建築士登録番号235197号 飯訪 泰輔



2階各室面積求積図 S=1/200

■各室床面積

階数	室名	タテ (m)	ヨコ (m)	小計	計	室面積 (㎡)	
1階	CR 5	8.1625	7.750	63.2593	63.2593	63.259	
	CR 6	8.1625	8.110	66.1978	66.1978	66.197	
	CR 7	8.1625	8.420	68.7282	68.7282	68.728	
	CR 8 (国語)	8.1625	8.665	70.7280	70.7280	70.728	
	CR 9 (社会科)	8.1625	8.110	66.1978	66.1978	66.197	
	HB 1	7.4575	7.800	58.1685	58.1685	58.168	
	HB 2	8.1625	3.485	28.4463	28.4463	28.446	
	HB 3	8.4525	4.0575	34.2960	34.2960	34.296	
	特支 3	8.1625	4.400	35.9150	35.9150	35.915	
	特支 4	8.1625	4.400	35.9150	35.9150	35.915	
	少人数 3	8.1625	4.050	33.0581	33.0581	33.058	
	少人数 4	8.1625	4.050	33.0581	33.0581	33.058	
	数学教室	8.4525	8.755	74.0016	74.9781	74.978	
			0.310	3.150	0.9765		
	教材室 2	3.510	4.2475	14.9087	22.3260	22.326	
			2.385	3.110	7.4173		
	OR 2 (通級)	3.510	3.6825	12.9255	12.9255	12.925	
	児童・生徒会室	3.510	5.3175	18.6644	18.6644	18.664	
	廊下 2-1	8.7625	2.5475	22.3224	22.3224	22.322	
	廊下 2-2	6.710	3.210	21.5391	21.5391	21.539	
	廊下 2-3	15.580	2.5475	39.6900	52.7023	52.702	
			2.8275	3.040	8.5956		
			1.995	0.695	1.3865		
			4.360	0.695	3.0302		
	廊下 2-4 屋内階段 A	15.580	3.210	50.0118	101.7838	101.783	
			3.800	13.200	50.1600		
			0.310	5.200	1.6120		
	廊下 2-5	2.8275	3.0075	8.5037	8.5037	8.503	
	廊下 2-6 屋内階段 B	8.010	3.210	25.7121	49.6741	49.674	
			1.960	2.350	4.6060		
			3.440	1.800	6.1920		
			1.590	4.000	6.3600		
			3.780	1.800	6.8040		
	廊下 2-7	5.5825	2.500	13.9562	113.3490	113.349	
			3.6975	24.9625	92.2988		
		0.705	1.960	1.3818			
		0.705	3.155	2.2242			
		0.400	8.720	3.4880			
廊下 2-8	2.500	8.755	21.8875	234.9885	234.988		
		6.795	4.0575	27.5707			
		6.795	5.4975	37.3555			
		0.6625	2.950	1.9543			
		3.9475	13.2475	52.2945			
		4.3475	2.385	10.3687			
		4.3075	10.6075	45.6918			
		3.150	2.465	7.7647			
		1.390	3.210	4.4619			
		3.045	8.420	25.6389			
OS-2	4.295	0.6875	2.9528	33.9038	33.903		
		3.6475	5.7125	20.8363			
		4.295	2.355	10.1147			
OS-3	5.825	5.5575	32.3724	32.3724	32.372		
理科 1	9.450	8.9575	84.6483	107.4028	107.402		
		3.440	0.705	2.4252			
		2.3475	8.660	20.3293			
理科準備室	4.4025	8.660	38.1256	38.8636	38.863		
		2.400	0.3075	0.7380			
理科 2	12.150	8.9675	108.9551	114.4351	114.435		
		7.885	0.695	5.4800			
図画・美術	8.410	11.400	95.8740	112.5276	112.527		
		8.0575	1.960	15.7927			
		0.3525	2.4425	0.8609			
図画・工作準備室	8.7625	8.100	70.9762	70.9762	70.976		
工作・技術	8.0575	12.460	100.3964	105.5746	105.574		
		0.705	7.345	5.1782			
HWC 2-1	2.2825	2.600	5.9345	5.9345	5.934		
SK-4	2.230	1.000	2.2300	2.2300	2.230		
MWC 2-1	3.780	4.500	17.0100	53.6918	53.691		
WWC 2-1	2.100	3.900	8.1900				
	2.2825	1.900	4.3367				
	4.780	3.2325	15.4513				
	2.230	2.2325	4.9784				
	1.1525	3.2325	3.7254				
MWC 2-2	3.150	3.6625	11.5368	11.5368	11.536		
WWC 2-2	3.150	4.480	14.1120	14.1120	14.112		
EV	2.8425	2.010	5.7134	5.7134	5.713		

工事名	やまと学園建設工事 (建築工事)	A- 017
図名	2階各室面積表	
設計	光市建設部建築住宅課 級建築士登録第 号	縮尺 (A1) 1/200 縮尺 (A3) 1/400
部長	課長	係長
製図	写図	令和 8年 5月

設計者	榎異設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
設計者	榎異設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
設計者	榎長大 一級建築士登録番号235197号 飯訪 泰輔

階	室名	室用途	内装制限	床高 (各階)	天高 (床高引)	床		幅木・腰		外壁に面する内壁		内壁		天井		廻縁	備考	室名
						下地	仕上	仕上	高	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上			
1	CR1・WS	教室		±0	2720	D M	ビニル床タイルA 床タイルA	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		CR1・WS
1	CR2・WS	教室		±0	2720	D M	ビニル床タイルA 床タイルA	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS (柱型)RC(B)打放 EP-G GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		CR2・WS
1	特別支援教室1	教室		±0	2720	D M	ビニル床タイルA 床タイルA	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS	LGS	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		特別支援教室1
1	特別支援教室2	教室		±0	2720	D M	ビニル床タイルA 床タイルA	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS	LGS	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		特別支援教室2
1	少人数教室1	教室		±0	2720	D	ビニル床タイルA	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		少人数教室1
1	少人数教室2	教室		±0	2720	D	ビニル床タイルA	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		少人数教室2
1	多目的室	教室		±0	2720	D	ビニル床タイルA	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS	LGS	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		多目的室
1	CR3	教室		±0	2720	D	ビニル床タイルA	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS (柱型)RC(B)打放 EP-G GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		CR3
1	CR4	教室		±0	2720	D M	ビニル床タイルA 床タイルA	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS	LGS	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		CR4
1	英語教室	教室		±0	2720	D	ビニル床タイルA	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS	LGS	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		英語教室
1	教材室1			±0	2720	D	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		教材室1
1	QR1(通級)	教室		±0	2720	D	ビニル床タイルA	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		QR1(通級)
1	OS1			±0	2720	D M	ビニル床タイルA 床タイルA	木製幅木 ビニル幅木	H60 H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G 杉板(県産) t10 OS	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		OS1
1	配膳室			±0	2720	SL M	塗床B 床タイルA(外部)	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Dt9.5 Fkt8.0 EP-G(屋外)	塩ビ		配膳室

工事名 やまと学園建設工事(建築工事)					No. A- 019
図名 内部仕上表 1					
設計 光市建設部建築住宅課					縮尺(A1) 1/100
級建築士登録第 号					縮尺(A3) 1/200
部長	課長	係長	製図	写図	令和 8年 5月

設計者
 榊野設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 榊野設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 榊長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

階	室名	室用途	内装制限	床高 (各階)	天高 (床高引)	床		幅木・腰		外壁に面する内壁		内壁		天井		廻縁	備考	室名
						下地	仕上	仕上	高	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上			
1	保健室			±0	2720	SL	ビニル床シートB (耐薬)	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		保健室
1	カウンセリング室			±0	2720	SL	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60			LGS	GB-S t 12.5 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		カウンセリング室
1	保健室前室			±0	2500	SL	ビニル床シートC (水回り)	ビニル幅木	H60	GL	GB-S t 12.5 EP-G	LGS	GB-S t 12.5 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		保健室前室
1	廊下1-1			±0	2720	SL	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		
1	廊下1-2			±0	2720	SL	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		
1	昇降口			±0	2720	M SL	床タイルA ビニル床シートA	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G 杉板張り	LGS	GB-Pt9.5 EP-G 一部木製ルーバー	塩ビ		昇降口
1	ラーニングcommons			±0	5350~ 11780	S	ビニル床シートC	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GWBt25	-		ラーニングcommons
1	職員室 職員室前室			±0	2720	OA SL	タイルカーペットA ビニル床シートA	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Nct9.5+DRt9.0	塩ビ		職員室 職員室前室
1	相談コーナー			±0	2720	SL	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Nct9.5+DRt9.0	塩ビ		相談コーナー
1	職員室ラウンジ			±0	2720	OA SL	タイルカーペットA タイルカーペットA	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Nct9.5+DRt9.0	塩ビ		職員室ラウンジ
1	ミーティングルーム			±0	2720	OA	タイルカーペットA	ビニル幅木	H60			LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Nct9.5+DRt9.0	塩ビ		ミーティングルーム
1	校長室			±0	2720	OA	タイルカーペットA	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地:合板t4.0 OS (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Nct9.5+DRt9.0	塩ビ		校長室
1	事務室			±0	2720	OA	タイルカーペットA	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Nct9.5+DRt9.0	塩ビ		事務室
1	倉庫1			±0	2720	SL	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		倉庫1

工事名 やまと学園建設工事 (建築工事)					No. A- 020
図名 内部仕上表 2					
設計 光市建設部建築住宅課					縮尺 (A1) 1/100
級建築士登録第 号					縮尺 (A3) 1/200
部長	課長	係長	製図	写図	令和 8年 5月

設計者
 榊野設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 榊野設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 榊長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

階	室名	室用途	内装制限	床高 (各階)	天高 (床高引)	床		幅木・腰		外壁に面する内壁		内壁		天井		廻縁	備考	室名
						下地	仕上	仕上	高	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上			
1	印刷・教材			±0	2720	OA	タイルカーペットA	ビニル幅木	H60			LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		印刷・教材
1	更衣室1			±0	2500	SL	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60			LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		更衣室1
1	更衣室2			±0	2500	SL	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60			LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		更衣室2
1	放送室			±0	2720	OA	タイルカーペットA	ビニル幅木	H60			LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		放送室
1	地域玄関			±0	2720	M	床タイルA	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Nct9.5+DRt9.0	塩ビ		地域玄関
						SL	ビニル床タイルA						(柱型一部)GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS					
1	ホール			±0	2720	SL	ビニル床タイルA	ビニル幅木 木製幅木	H60 H60			LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Nct9.5+DRt9.0	塩ビ		ホール
													(柱型一部)GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS					
1	CS			±0	2720	D	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		CS
						M	床タイルA	木製幅木	H60									
1	こどもサロートルム	教室		±0	2720	D	ビニル床タイルA	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS	LGS	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		こどもサロートルム
						M	床タイルA											
1	放課後児童クラブ			±0	2720	D	ビニル床タイルA	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5下地合板t4.0 OS	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		放課後児童クラブ
						M	床タイルA	ビニル幅木	H60				GB-Rt12.5 EP-G					
1	ランチルーム(家庭科室)			±0	2720	SL	ビニル床シートC	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		ランチルーム(家庭科室)
1	ランチルーム準備室			±0	2720	SL	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		ランチルーム準備室
1	MWC1-1			±0	2400	SL	ビニル床シートC	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地+化粧FKt6.0	LGS	GB-Rt12.5下地+化粧FKt6.0	LGS	FKt6.0 EP-G	塩ビ		MWC1-1
	WWC1-1																	
	HWC1-1																	
1	SK-1・2・3			±0	2400	SL	ビニル床シートC	ビニル幅木	H60			LGS	GB-St12.5 EP-G	LGS	FKt6.0 EP-G	塩ビ		SK-1・2・3
1	MWC1-2			±0	2500	SL	ビニル床シートC	ビニル幅木	H60			LGS	GB-Rt12.5下地+化粧FKt6.0	LGS	FKt6.0 EP-G	塩ビ		MWC1-2
	WWC1-2																	
	HWC1-2																	

工事名 やまと学園建設工事(建築工事)					No.
図名 内部仕上表3					A-021
設計 光市建設部建築住宅課					縮尺(A1) 1/100
級建築士登録第 号					縮尺(A3) 1/200
部長	課長	係長	製図	写図	令和 8年 5月

設計者
 榊野設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 榊野設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 榊長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

階	室名	室用途	内装制限	床高 (各階)	天高 (床高引)	床		幅木・腰		外壁に面する内壁		内壁		天井		廻縁	備考	室名
						下地	仕上	仕上	高	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上			
1	授乳室			±0	2500	SL	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60			LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		授乳室
1	倉庫2			±0	2500	SL	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60			LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		倉庫2
1	MWC1-3 WVC1-3			±0	2500	SL	ビニル床シートC	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地+化粧FKt6.0	LGS	GB-Rt12.5下地+化粧FKt6.0 (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	FKt6.0 EP-G	塩ビ		MWC1-3
1	アリーナ			-320	10864	S	フローリングD	木製幅木	H90	GL	有孔汁合板t12.0 有孔汁合板t5.5(点検歩廊上部) コンクリート保護塗装 RC(B)打放 EP-G	LGS	有孔汁合板t12.0 有孔汁合板t5.5(点検歩廊上部) コンクリート保護塗装 RC(B)打放 EP-G	LGS	GWBt25 RC(B)打放 EP-G	-		アリーナ
1	多目的ホール(ステージ)			+480	6437	S	フローリングC	木製幅木	H100			LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	ブドウ棚	-		多目的ホール(ステージ)
1	多目的ホール(音楽室)			+480	3324	SL	ビニル床タイルB	木製幅木	H100	GL	有孔汁合板t12.0 有孔汁合板t5.5	LGS	有孔汁合板t12.0 有孔汁合板t5.5	LGS	GB-Nct9.5+DRt9.0(不燃)	-		多目的ホール(音楽室)
1	多目的ホール準備室			+480	2400	SL	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		多目的ホール準備室
1	器具庫a			-320	3200	SL	ビニル床シートA	木製幅木 UC	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		器具庫a
1	器具庫b1~4			-320	3560	M	ビニル床シートA	木製幅木 UC	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		器具庫b1~4
1	更衣室3			±0	2500	SL	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		更衣室3
1	更衣室4			-320	2500	SL	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		更衣室4
1	防災倉庫			-320	2720	M	塗床A	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		防災倉庫
1	廊下1-6			-320~ ±0	2830	M SL	ビニル床シートD(スロープ) ビニル床シートA	ビニル幅木	H60			LGS	GB-Rt12.5 EP-G RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		廊下1-6
1	廊下1-7			±0~ +480	2500	M SL	ビニル床シートD(スロープ) ビニル床シートA	ビニル幅木	H60			LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		廊下1-7

工事名 やまと学園建設工事(建築工事)					No. A-022
図名 内部仕上表4					
設計 光市建設部建築住宅課					縮尺(A1) 1/100
級建築士登録第 号					縮尺(A3) 1/200
部長	課長	係長	製図	写図	令和 8年 5月

設計者
 榊野設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 榊野設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 榊野大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

階	室名	室用途	内装制限	床高 (各階)	天高 (床高引)	床		幅木・腰		外壁に面する内壁		内壁		天井		廻縁	備考	室名
						下地	仕上	仕上	高	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上			
1	廊下1-3・1-4・1-5			±0	2720	SL	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60			LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		
1	書庫			±0	2063	S	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60	-		LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	RC(C)打放 結露防止塗装	-		書庫
1	AC機械室			±0	3100	C	コンクリート直均し	ビニル幅木	H60	-		LGS	GB-Rt12.5 素地	-		-		AC機械室
2	CR5	教室		±0	3928	SL	ビニル床タイルB	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		CR5
2	CR6	教室		±0	3928	SL	ビニル床タイルB	木製幅木 ビニル幅木	H60 H60	GL	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS (柱型)RC(B)打放 EP-G GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		CR6
2	CR7	教室		±0	2720	SL	ビニル床タイルB	木製幅木 ビニル幅木	H60 H60	GL	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		CR7
2	CR8(国語)	教室		±0	3928	SL	ビニル床タイルB	木製幅木 ビニル幅木	H60 H60	GL	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS (柱型)RC(B)打放 EP-G GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		CR8(国語)
2	CR9(社会科)	教室		±0	3928	SL	ビニル床タイルB	木製幅木 ビニル幅木	H60 H60	GL	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS (柱型)RC(B)打放 EP-G GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		CR9(社会科)
2	HB1			±0	2720	SL	ビニル床タイルB	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		HB1
2	HB2			±0	3680	SL	ビニル床タイルB	木製幅木 ビニル幅木	H60 H60	GL	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS GB-Rt12.5 EP-G	LGS	(柱型)RC(B)打放 EP-G GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		HB2
2	HB3			±0	2720	SL	ビニル床タイルB	ビニル幅木	H60	GL		LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		HB3
2	特別支援教室3	教室		±0	3928	SL	ビニル床タイルB	木製幅木 ビニル幅木	H60 H60	GL	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS (柱型)RC(B)打放 EP-G GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		特別支援教室3
2	特別支援教室4	教室		±0	3928	SL	ビニル床タイルB	木製幅木 ビニル幅木	H60 H60	GL	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS (柱型)RC(B)打放 EP-G GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		特別支援教室4

工事名 やまと学園建設工事(建築工事)					No.
図名 内部仕上表5					A- 023
設計 光市建設部建築住宅課					縮尺(A1) 1/100
級建築士登録第 号					縮尺(A3) 1/200
部長	課長	係長	製図	写図	令和 8年 5月

設計者
 榊野設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 榊野設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 榊長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

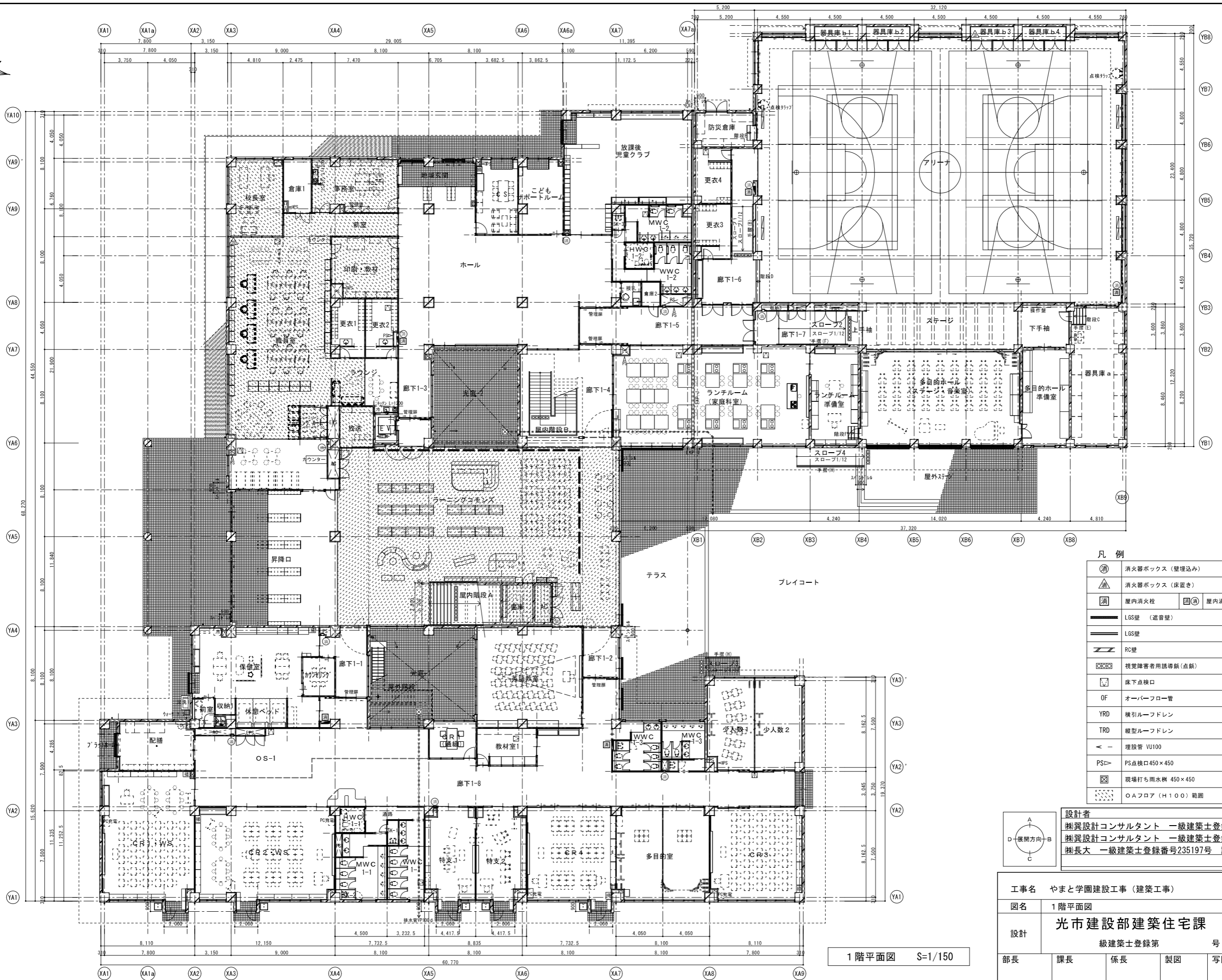
階	室名	室用途	内装制限	床高 (各階)	天高 (床高引)	床		幅木・腰		外壁に面する内壁		内壁		天井		廻縁	備考	室名
						下地	仕上	仕上	高	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上			
2	少数教室3	教室		±0	3928	SL	ビニル床タイルB	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS	LGS	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		少数教室3
								ビニル幅木	H60		GB-Rt12.5 EP-G		(柱型)RC(B)打放 EP-G					
													GB-Rt12.5 EP-G					
2	少数教室4	教室		±0	3928	SL	ビニル床タイルB	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS	LGS	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		少数教室4
								ビニル幅木	H60		GB-Rt12.5 EP-G		(柱型)RC(B)打放 EP-G					
													GB-Rt12.5 EP-G					
2	数学教室	教室		±0	2720	SL	ビニル床タイルB	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS	LGS	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		数学教室
								ビニル幅木	H60		(柱型)RC(B)打放 EP-G		(柱型)RC(B)打放 EP-G					
													GB-Rt12.5 EP-G					
2	教材室2			±0	2720	SL	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		教材室2
											(柱型)RC(B)打放 EP-G							
2	QR2(通級)	教室		±0	2720	SL	ビニル床タイルB	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS	LGS	GB-Rt12.5下地仕上げ板t4.0 OS	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		QR2(通級)
2	児童・生徒会室			±0	2720	SL	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		児童・生徒会室
											(柱型)RC(B)打放 EP-G							
2	OS-2(総合メディア)			±0	2720	SL	ビニル床タイルB	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		OS-2(総合メディア)
								ビニル幅木	H60				杉板(県産)t10 OS					
													(柱型)RC(B)打放 EP-G					
2	廊下2-1・2-2			±0	2720	SL	ビニル床タイルB	ビニル幅木	H60			LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		廊下2-1・2-2
2	廊下2-5・2-6			±0	2720	SL	ビニル床タイルB	ビニル幅木	H60			LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		廊下2-5・2-6
2	廊下2-3			±0	6296	SL	ビニル床タイルB	ビニル幅木	H60			LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		廊下2-3
2	廊下2-4			±0	6612	SL	ビニル床タイルB	ビニル幅木	H60			LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		廊下2-4
2	屋内階段A				3230~ 10583	SL	ビニル床タイルB	ビニル幅木	H60			LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GBWt25	塩ビ		屋内階段A
2	屋内階段B				6720	SL	ビニル床タイルB	ビニル幅木	H60			LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		屋内階段B

工事名 やまと学園建設工事(建築工事)					No.
図名 内部仕上表6					A- 024
設計 光市建設部建築住宅課					縮尺(A1) 1/100
級建築士登録第 号					縮尺(A3) 1/200
部長	課長	係長	製図	写図	令和 8年 5月

階	室名	室用途	内装制限	床高 (各階)	天高 (床高引)	床		幅木・腰		外壁に面する内壁		内壁		天井		廻縁	備考	室名	
						下地	仕上	仕上	高	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上				
2	理科室1	教室		±0	2720	SL	ビニル床シートB (耐薬)	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		理科室1	
2	理科準備室			±0	5911	勾配天井	SL	ビニル床シートB (耐薬)	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G	LGS	GB-Dt9.5	塩ビ		理科準備室
2	理科室2	教室		±0	6781	勾配天井	SL	ビニル床シートB (耐薬)	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		理科室2
2	図画・美術室	教室		±0	3945	勾配天井	SL	ビニル床シートA	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		図画・美術室
2	図画・工作準備室			±0	3924	勾配天井	SL	塗床A	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		図画・工作準備室
2	工作・技術室	教室		±0	3918	勾配天井	SL	塗床A	ビニル幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		工作・技術室
2	OS-3(創作メディア)			±0	2720	SL	ビニル床タイルB	木製幅木	H60	GL	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5 EP-G (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Pt9.5	塩ビ		OS-3(創作メディア)	
2	MWC2-1 WWC2-1 HWC2-1			±0	2400	SL	ビニル床シートC			GL	GB-Rt12.5+下地化粧FKt6.0	LGS	GB-Rt12.5+下地化粧FKt6.0	LGS	FKt6.0 EP-G	塩ビ		MWC2-1 WWC2-1	
2	SK-4 SK-5			±0	2400	SL	ビニル床シートC			GL	GB-St12.5 EP-G	LGS	GB-St12.5 EP-G	LGS	FKt6.0 EP-G	塩ビ		SK-4 SK-5	
2	MWC2-2 WWC2-2			±0	2500	SL	ビニル床シートC			GL	GB-Rt12.5+下地化粧FKt6.0 (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	GB-Rt12.5+下地化粧FKt6.0 (柱型)RC(B)打放 EP-G	LGS	FKt6.0 EP-G	塩ビ		MWC2-2 WWC2-2	
2	機械室			±0	3102	勾配天井	C	コンクリート直押え	ビニル幅木	-	コンクリート現し 断熱材現し	LGS	LGS現し						
1・2	PS・EPS・AC			±0	直天井	C	コンクリート直押え	ビニル幅木	-	コンクリート現し 断熱材現し	LGS	LGS現し							
	ピット					C	コンクリート直押え				RC(C)打放		RC(C)打放		RC(C)打放				

工事名 やまと学園建設工事(建築工事)					No.
図名 内部仕上表7					A- 025
設計 光市建設部建築住宅課					縮尺(A1) 1/100
級建築士登録第 号					縮尺(A3) 1/200
部長	課長	係長	製図	写図	令和 8年 5月

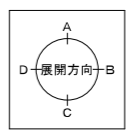
設計者
 榎葉設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 榎葉設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 榎長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔



1階平面図 S=1/150

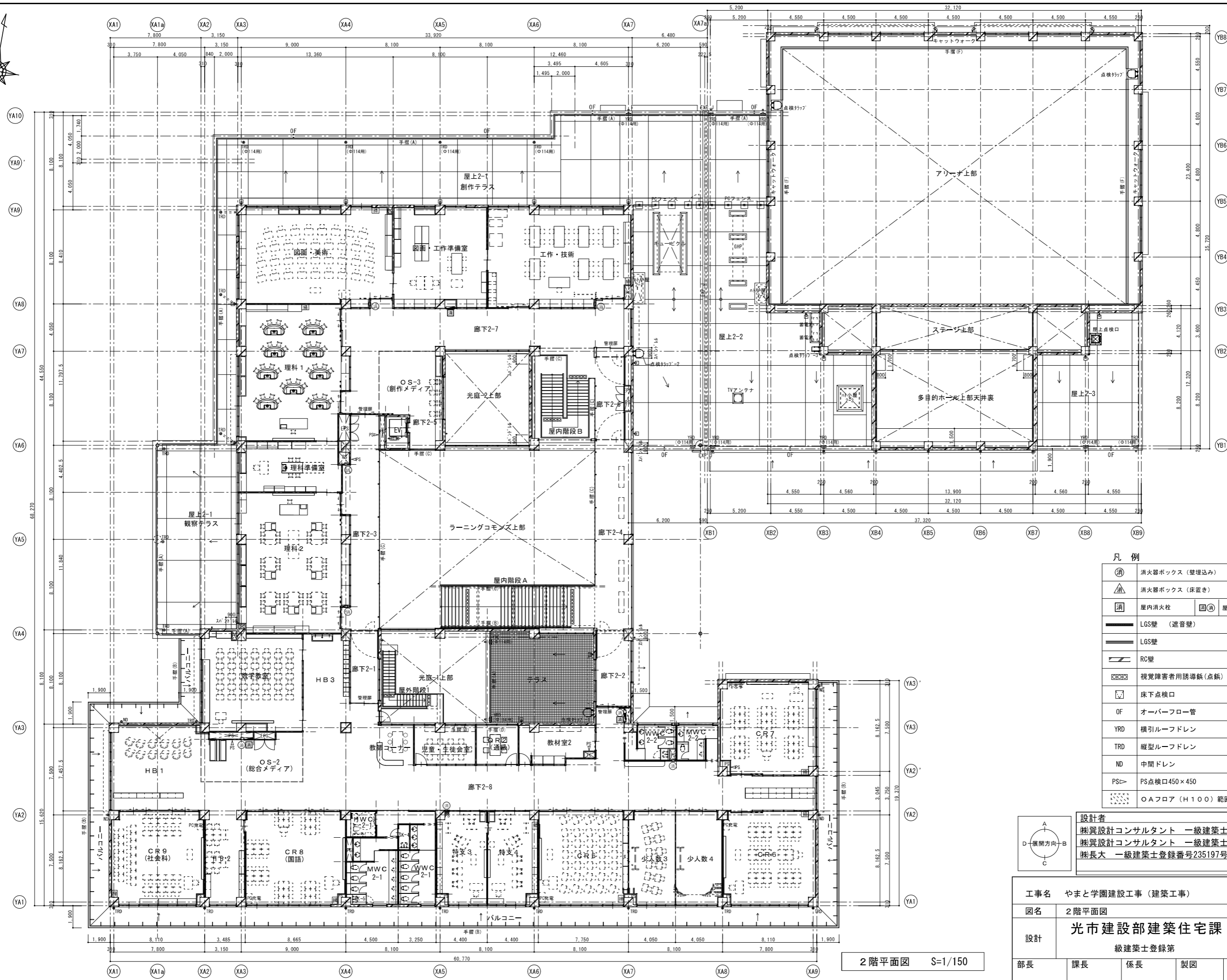
凡例

	消火器ボックス (壁埋込み)
	消火器ボックス (床置き)
	屋内消火栓
	屋内消火栓・消火器収納
	LGS壁 (遮音壁)
	LGS壁
	RC壁
	視覚障害者用誘導線 (点線)
	床下点検口
	オーバーフロー管
	YRD 横引ルーフドレン
	TRD 縦型ルーフドレン
	埋設管 VU100
	PS点検口 450×450
	現場打ち雨水樹 450×450
	OAフロア (H100) 範囲



設計者
 ㈱異設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 ㈱異設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 ㈱長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

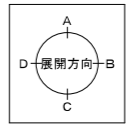
工事名	やまと学園建設工事 (建築工事)	A-026
図名	1階平面図	
設計	光市建設部建築住宅課	縮尺 (A1) 1/150
	級建築士登録第 号	縮尺 (A3) 1/300
部長	課長	係長
	製図	写図
	令和 8年	5月



2階平面図 S=1/150

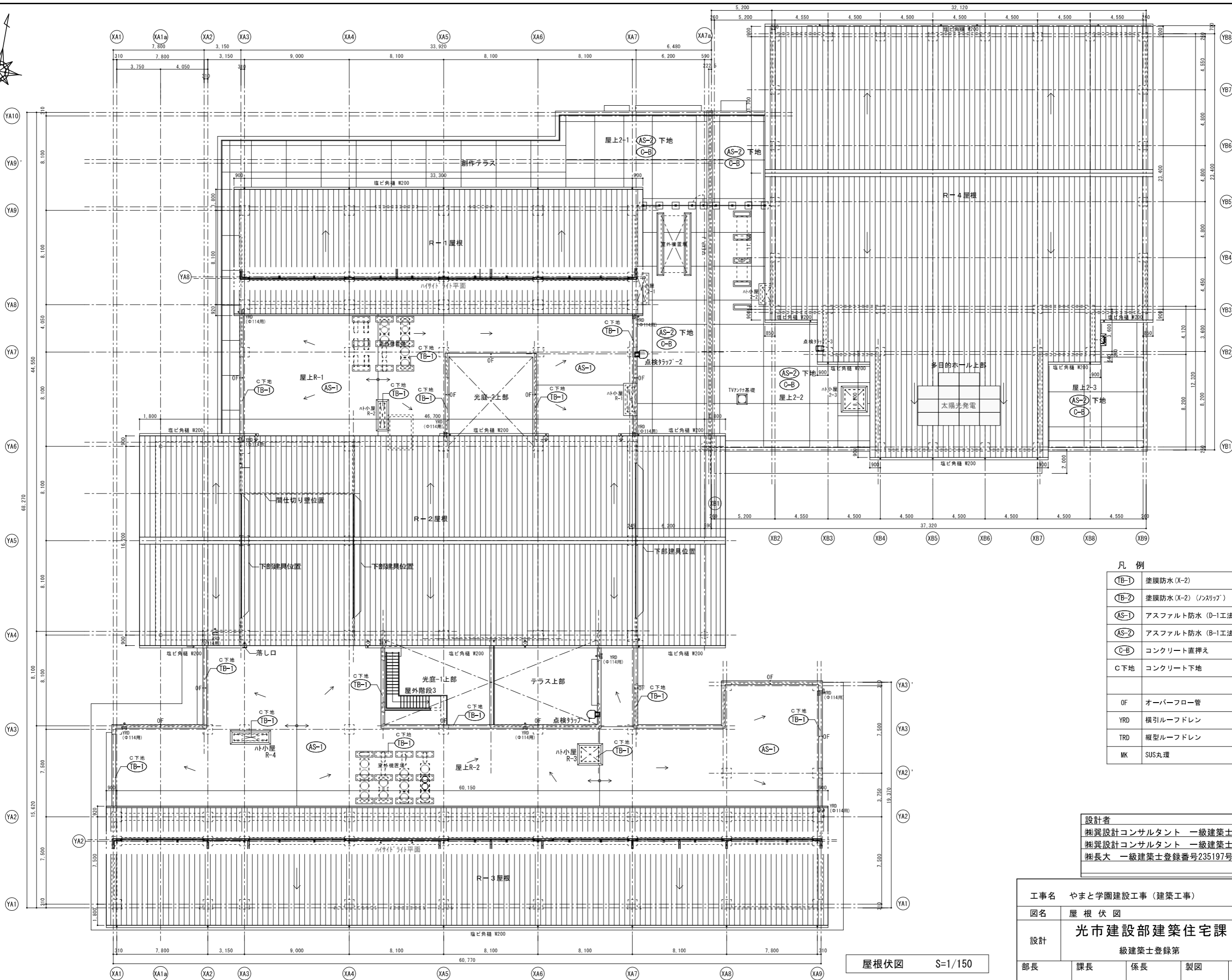
凡例

	消火器ボックス (壁埋込み)		
	消火器ボックス (床置き)		
	屋内消火栓		屋内消火栓・消火器収納
	LGS壁 (遮音壁)		
	LGS壁		
	RC壁		
	視覚障害者用誘導線 (点訳)		
	床下点検口		
	オーバーフロー管		
	YRD 横引ルーフドレン		
	TRD 縦型ルーフドレン		
	ND 中間ドレン		
	PS点検口450×450		
	○Aフロア (H100) 範囲		



設計者
 ㈱異設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 ㈱異設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 ㈱長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

工事名	やまと学園建設工事 (建築工事)	A-027
図名	2階平面図	
設計	光市建設部建築住宅課	縮尺(A1) 1/150
	級建築士登録第 号	縮尺(A3) 1/300
部長	課長	係長
	製図	写図
令和 8年 5月		



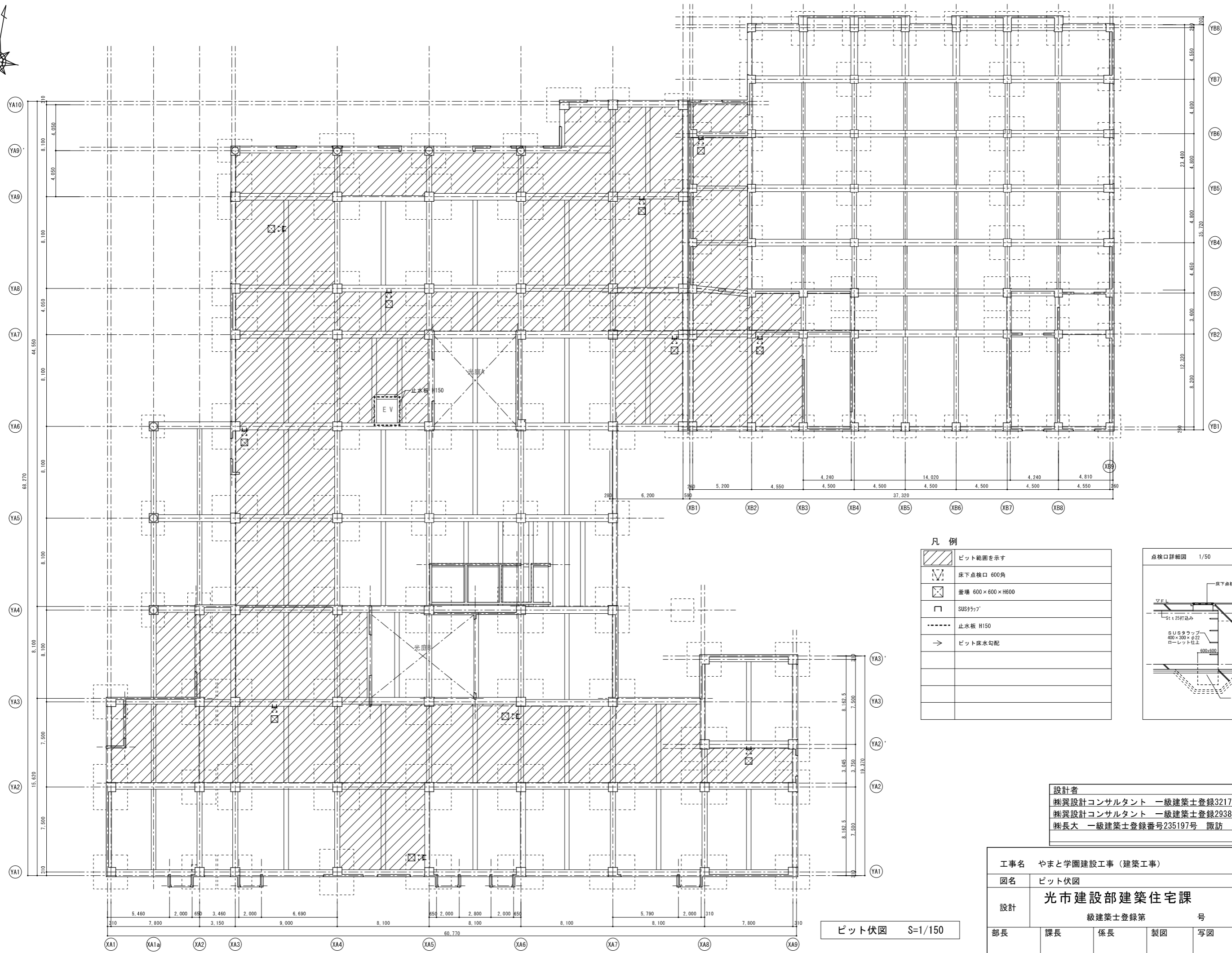
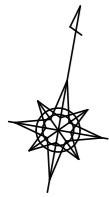
凡例

(TB-1)	塗膜防水 (X-2)
(TB-2)	塗膜防水 (X-2) (ノズリップ)
(AS-1)	アスファルト防水 (D-1工法) (露出防水)
(AS-2)	アスファルト防水 (B-1工法) (保護あり)
(C-B)	コンクリート直押え
C下地	コンクリート下地
OF	オーバーフロー管
YRD	横引ルーフドレン
TRD	縦型ルーフドレン
MK	SUS丸環

設計者
 ㈱異設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 ㈱異設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 ㈱長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

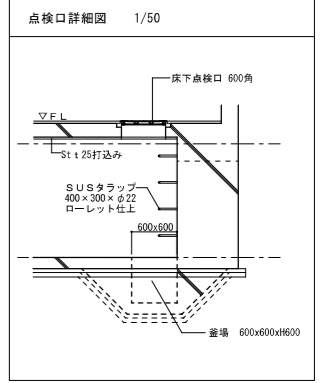
工事名	やまと学園建設工事 (建築工事)	A-028
図名	屋根伏図	
設計	光市建設部建築住宅課 一級建築士登録第 号	縮尺 (A1) 縮尺 (A3)
部長	課長	係長
製図	写図	令和 8年 5月

屋根伏図 S=1/150



凡例

	ピット範囲を示す
	床下点検口 600角
	蓋場 600×600×H600
	SUSタラップ
	止水板 H150
	ピット床水勾配



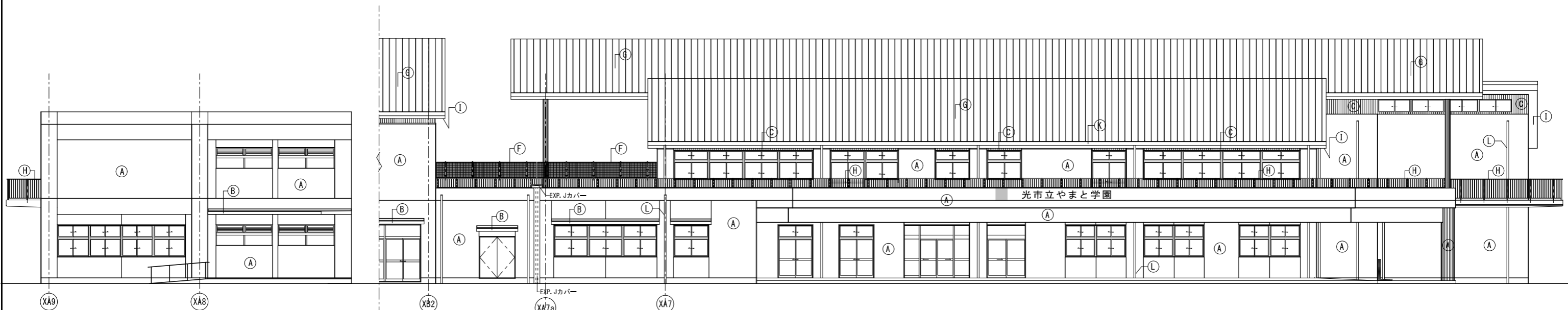
設計者
 ㈱巽設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 ㈱巽設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 ㈱長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

工事名	やまと学園建設工事 (建築工事)	A- 029
図名	ピット伏図	
設計	光市建設部建築住宅課 一級建築士登録第 号	縮尺 (A1) 1/150 縮尺 (A3) 1/300
部長	課長	係長
製図	写図	令和 8年 5月

ピット伏図 S=1/150

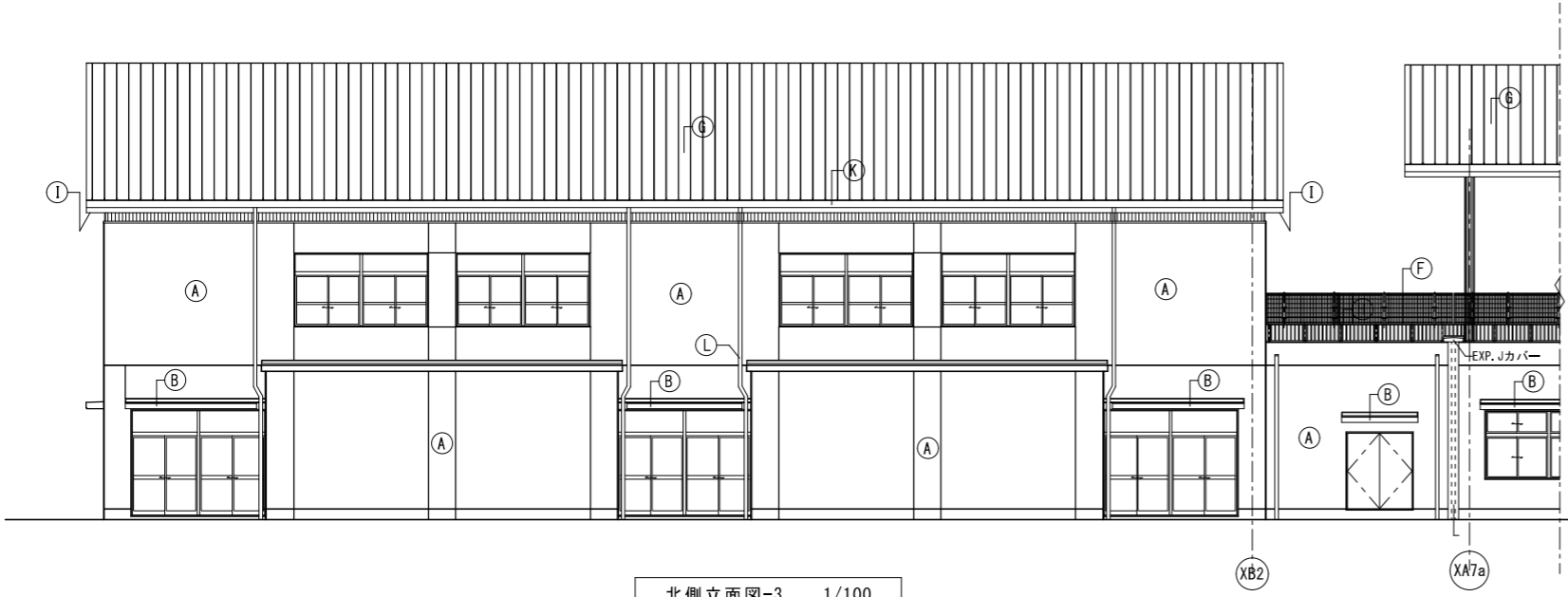


西側立面図 1/100



北側立面図-2 1/100

北側立面図-1 1/100

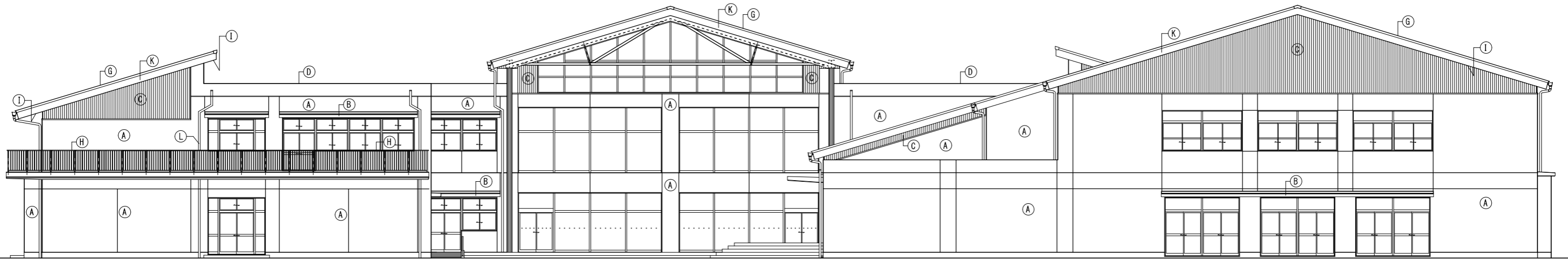


北側立面図-3 1/100

符号	仕上げ	符号	仕上げ
(A)	外壁：RC(B)打放 外装吹付A	(H)	アルミ手摺
(B)	窓庇：RC(C)打放 塗膜防水	(I)	軒天：FKt8 EP-G
(C)	外壁：鋼板張り	(J)	軒天：窯業系サイディング(木目調)t12
(D)	笠木：塗膜防水	(K)	鼻隠し、破風：FK t12 DP
(E)	光庭外壁：RC(A)打放 外装吹付A	(L)	塩ビ縦樋
(F)	屋上目隠しフェンス H=1500		
(G)	屋根：タテハゼ葺き		

設計者
 ㈱異設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 ㈱異設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 ㈱長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

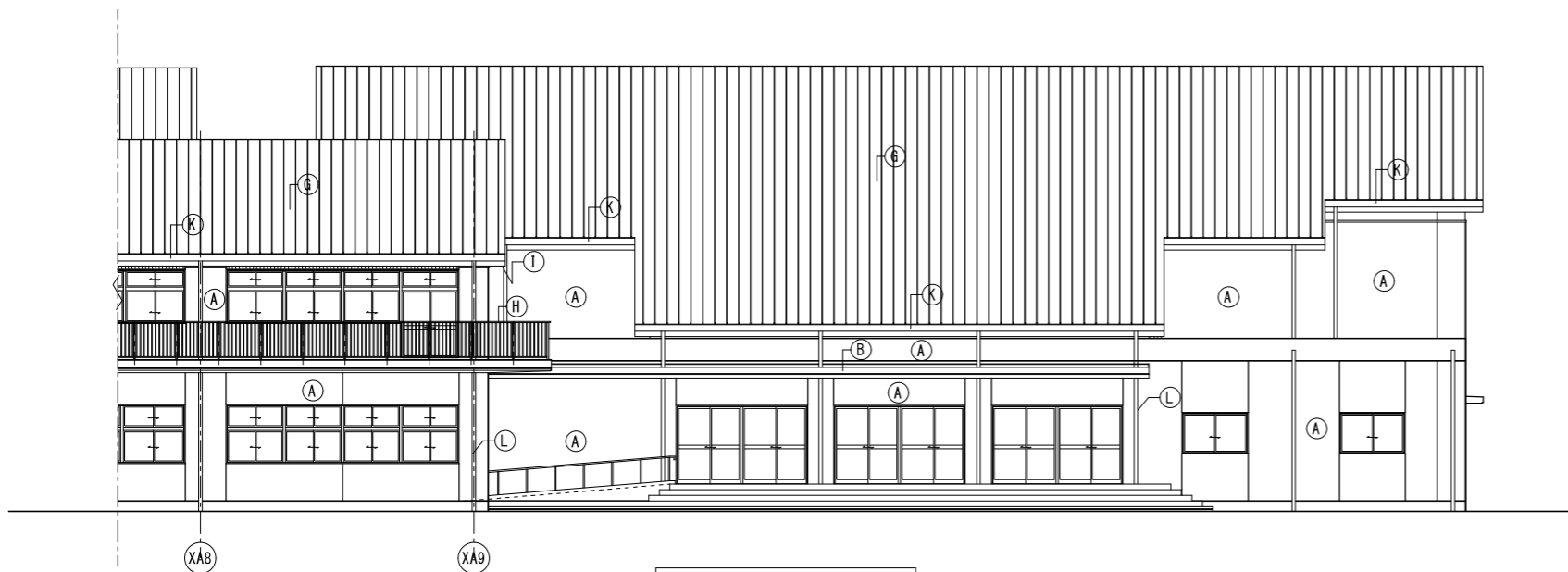
工事名	やまと学園建設工事 (建築工事)				A- 030
図名	立面図 - 1				
設計	光市建設部建築住宅課				縮尺(A1) 1/100 縮尺(A3) 1/200
部長	課長	係長	製図	写図	令和 8年 5月



東側立面図 1/100



南側立面図-1 1/100

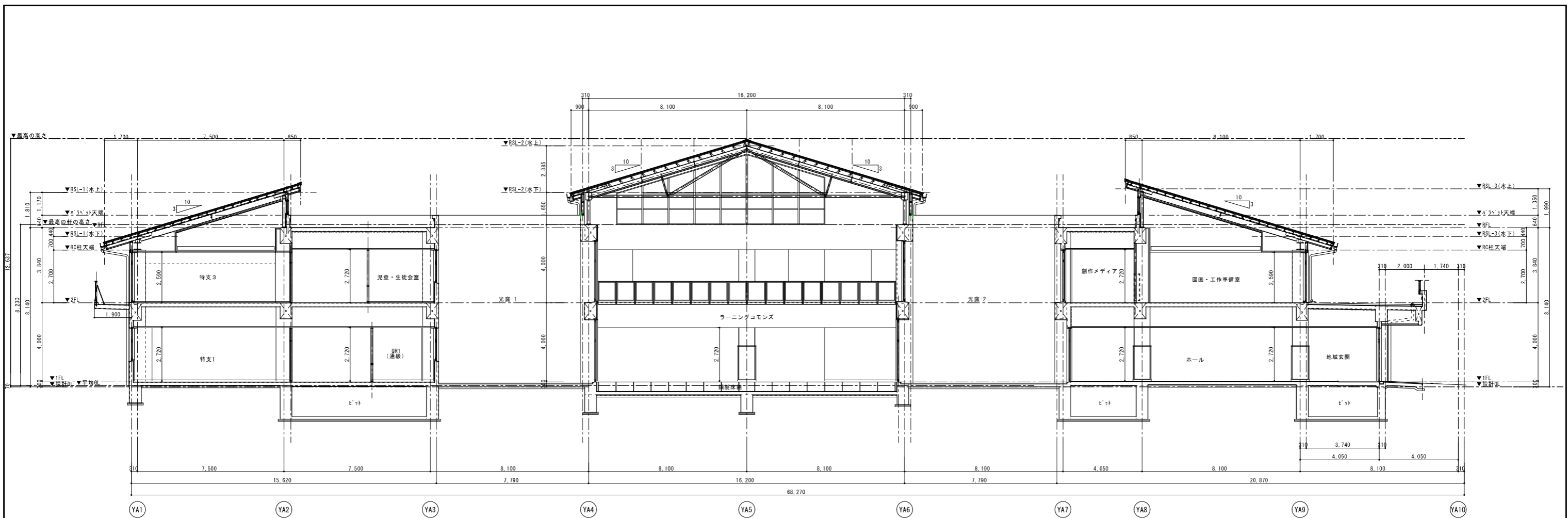


南側立面図-2 1/100

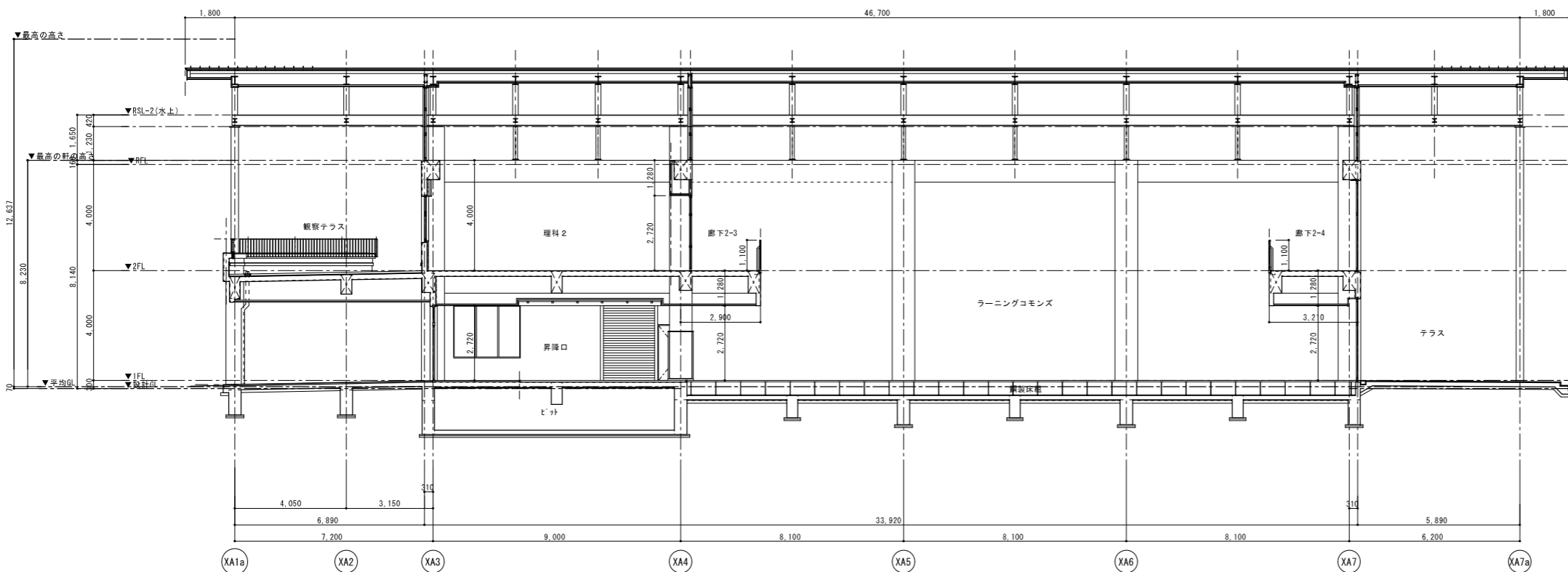
符号	仕上	符号	仕上
(A)	外壁：RC(B)打放 外装吹付A	(H)	アルミ手摺
(B)	窓庇：RC(C)打放 塗膜防水	(I)	軒天：FKt8 EP-G
(C)	外壁：鋼板張り	(J)	軒天：窯業系サイディング(木目調)t12
(D)	笠木：塗膜防水	(K)	鼻隠し、破風：FK t12 DP
(E)	光庭外壁：RC(A)打放 外装吹付A	(L)	塩ビ縦樋
(F)	屋上目隠しフェンス H=1500		
(G)	屋根：タテハゼ葺き		

設計者
 ㈱異設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 ㈱異設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 ㈱長大 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

工事名	やまと学園建設工事(建築工事)			A- 031
図名	立面図-2			
設計	光市建設部建築住宅課			縮尺(A1) 1/100 縮尺(A3) 1/200
部長	課長	係長	製図	写図
				令和 8年 5月



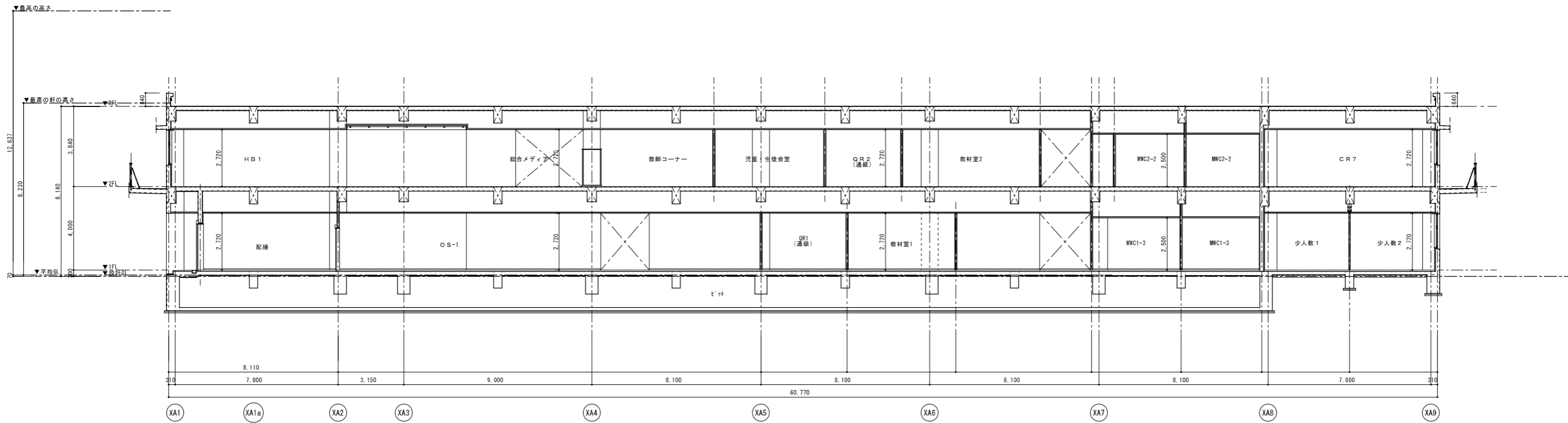
断面図-1 1/100



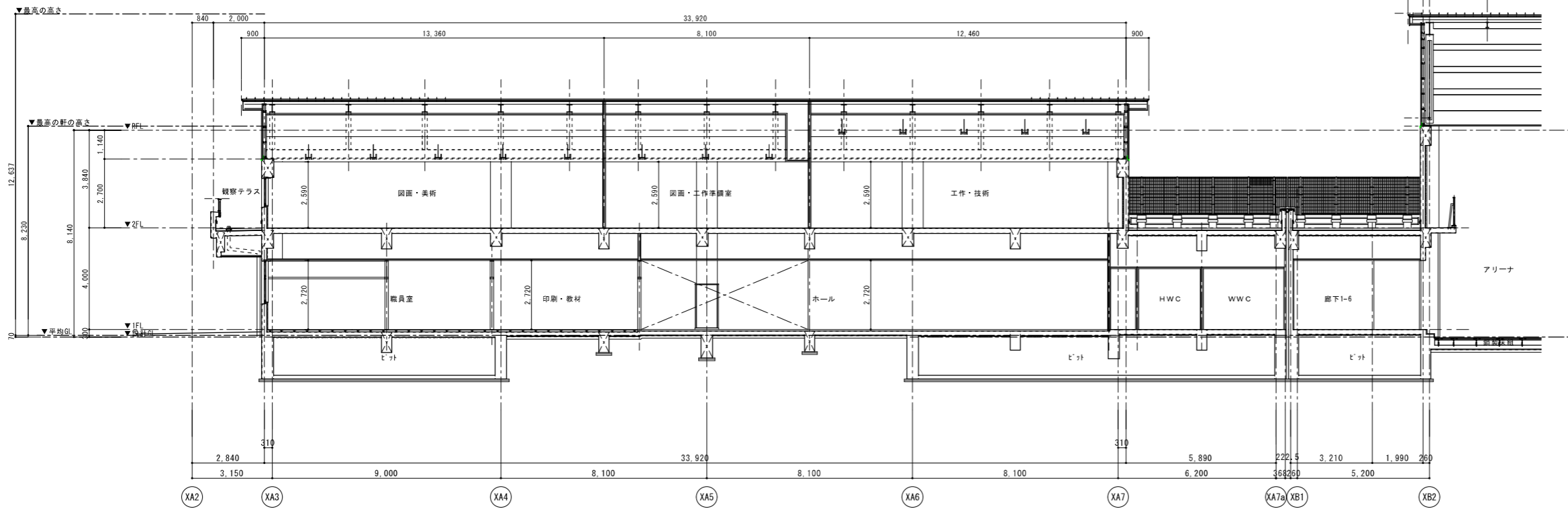
断面図-2 1/100

設計者
 株式会社設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 株式会社設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 株式会社 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

工事名	やまと学園建設工事 (建築工事)	A-032
図名	断面図-1、-2	
設計	光市建設部建築住宅課 一級建築士登録第 号	縮尺(A1) 1/100 縮尺(A3) 1/200
部長	課長	係長
製図	写図	令和 8年 5月



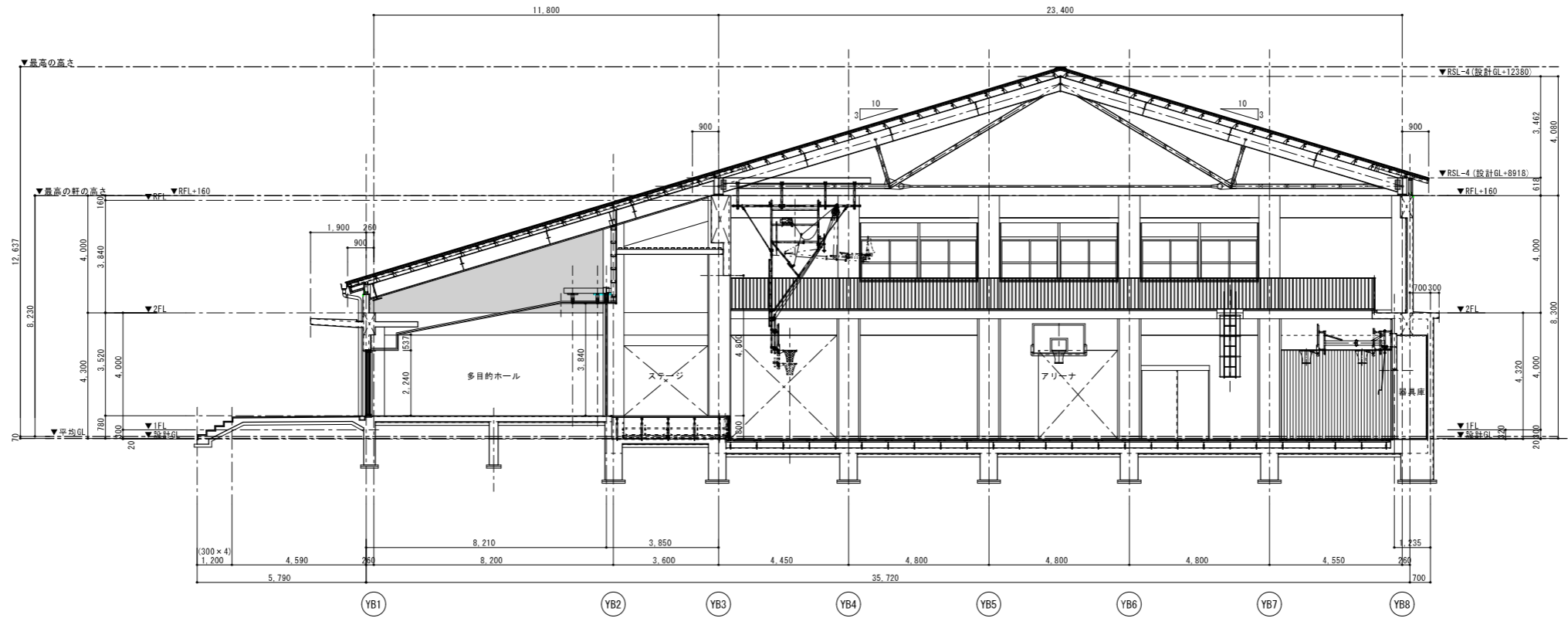
断面図-3 1/100



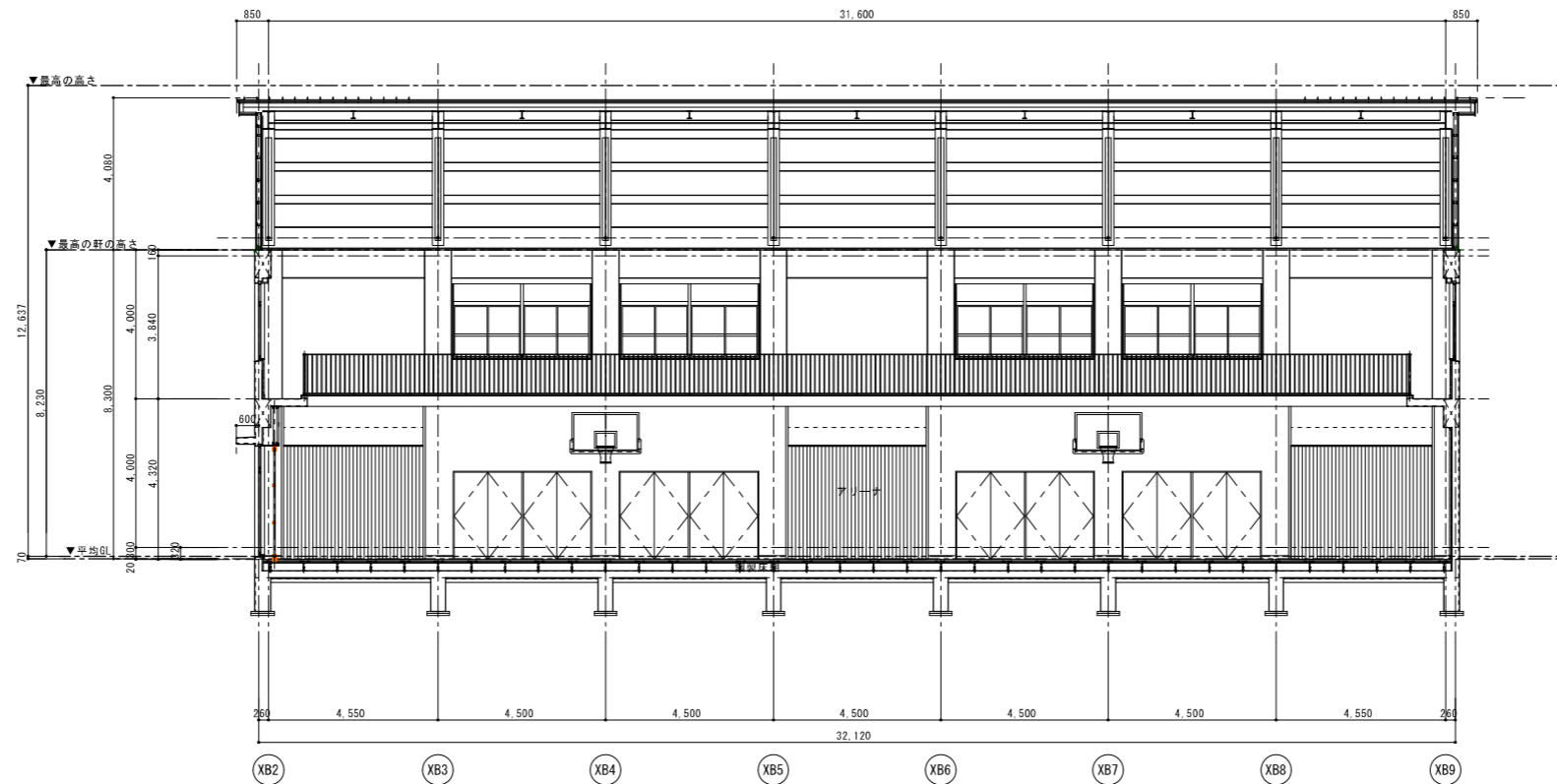
断面図-4 1/100

設計者
 株式会社設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 株式会社設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 株式会社 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

工事名	やまと学園建設工事 (建築工事)	A- 033
図名	断面図-3、-4	
設計	光市建設部建築住宅課 一級建築士登録第 号	縮尺(A1) 1/100 縮尺(A3) 1/200
部長	課長	係長
	製図	写図
	令和 8年 5月	



断面図-5 1/100



断面図-6 1/100

設計者
 株式会社設計コンサルタント 一級建築士登録321729号 小澤 透
 株式会社設計コンサルタント 一級建築士登録293856号 福田 豊和
 株式会社 一級建築士登録番号235197号 諏訪 泰輔

工事名	やまと学園建設工事 (建築工事)		A- 034
図名	断面図-5、-6		
設計	光市建設部建築住宅課 一級建築士登録第 号		縮尺(A1) 1/100 縮尺(A3) 1/200
部長	課長	係長	製図 写図 令和 8年 5月